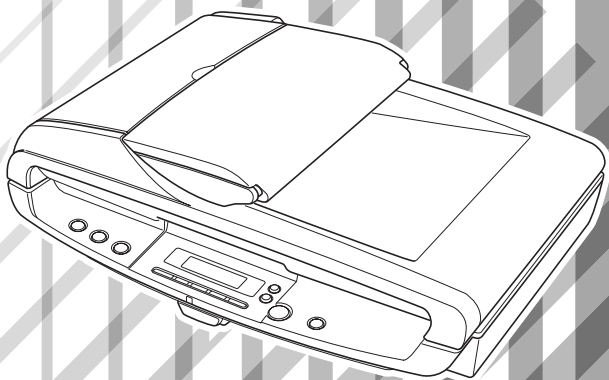


# Canon



imageFORMULA  
DR-1210C

## ユーザーズガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。  
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

## ■ご注意

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

## ■複製についてのご注意

- ・ 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- ・ 書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

## ■商標および登録商標について

- ・ imageFORMULA® は、キヤノン電子株式会社の登録商標です。
- ・ Microsoft Windows® は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標です。
- ・ Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe PDF ロゴ および Adobe Readerは、Adobe System Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ・ ISIS は、EMC. の米国における商標です。
- ・ その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

## ■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

# ソフトウェア製品のパッケージ開封前に必ずお読みください。

このたびは、弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

弊社では、弊社のハードウェア製品と同梱のソフトウェア製品につきましては、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書を設けさせていただいており、お客様が下記契約書にご同意いただいた場合のみソフトウェア製品をご使用させていただいております。お手数ではございますが、本ソフトウェア製品のパッケージの開封前に下記契約書を十分にお読みください。下記契約にご同意いただけない場合には、本ソフトウェア製品を未開封のまま速やかに他の未使用の同梱製品とともにご購入いただいた販売店にご返却ください。この場合、お支払い済の代金をお返し致します。

なお、本ソフトウェア製品のパッケージを開封された場合には、お客様が下記契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

## ソフトウェア製品使用許諾契約書

キャノン電子株式会社（以下キャノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供するソフトウェア製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾プログラム」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾プログラム」およびその複製物に関する権利はその内容によりキャノンまたはキャノンのライセンサーに帰属します。

### 1. 使用許諾

- (1) お客様は、機械読取形態の「許諾プログラム」を一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾プログラム」を使用したり、また「許諾プログラム」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキャノンからその使用権を取得することが必要です。
- (2) お客様は、「許諾プログラム」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。
- (3) お客様は、本契約に特に定められている場合を除き、「許諾プログラム」の全部または一部を複製、翻訳、他のプログラム言語への変換、修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また、第三者にこのような行為をさせてはなりません。

### 2. 「許諾プログラム」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾プログラム」中のソフトウェア・プログラムを1コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾プログラム」中のソフトウェア・プログラムをお客様がご使用のコンピュータのハードディスクなどの記憶装置1台のみにコピーすることができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾プログラム」を複製できません。お客様は、「許諾プログラム」の複製物に含まれる著作権表示を改変あるいは除去してはなりません。

### 3. 保証

キャノンは、お客様が「許諾プログラム」を購入した日から90日の間、通常の使用状態にて、「許諾プログラム」が格納されている「プログラムディスク」に物理的な欠陥がないことを保証します。この保証は、「プログラムディスク」の欠陥が「許諾プログラム」の事故あるいは誤用による場合には適用しないものとします。この保証は、「許諾プログラム」に関するキャノンの保証のすべてであり、お客様ご自身に対してのみ保証いたします。

### 4. サポートおよびアップデート

キャノンおよび販売店は、「許諾プログラム」のメンテナンスおよびその使用についての援助を行わないものとします。「許諾プログラム」のアップデート、修理、およびサポートも行いません。

### 5. 保証の否認・免責

- (1) 第3項に定める場合を除き、キャノンおよび販売店は、「許諾プログラム」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾プログラム」にバグがないこと、その他「許諾プログラム」に関していかなる保証もいたしません。
- (2) キャノンおよび販売店は、「許諾プログラム」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾プログラム」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

## 6. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾プログラム」を直接または間接に輸出してはなりません。

## 7. 契約期間

- (1) 本契約は、お客様が「許諾プログラム」のパッケージを開封した時点で発効します。
- (2) お客様は、キヤノンに対して30日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。
- (3) お客様は、「許諾プログラム」およびその複製物を廃棄または消去することにより本契約を終了させることができます。
- (4) キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
- (5) 本契約は、上記(2)、(3)または(4)により終了するまで有効に存続します。上記(2)、(3)または(4)により本契約が終了した場合、キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾プログラム」の代金の返還をキヤノンおよび販売店に請求できません。
- (6) お客様には、本契約の終了後2週間以内に、「許諾プログラム」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

## 8. 一般条項

- (1) 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。
- (2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

## 9. U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE:

The SOFTWARE is provided with RESTRICTED RIGHTS. Use, duplication or disclosure is subject to restrictions as set forth in either subparagraph (c) (1) (ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software Clause at DFARs 252.227-7013 or subparagraph (c) (1) and (2) of the Commercial Computer Software Restricted Rights Clause at FAR 52.227-19, as applicable.

## 10. 完全合意

本契約は「許諾プログラム」の使用に関して当事者間の合意のすべてを構成するものであり、当該事項に関する書面または口頭によるすべての事前および同時発生の理解や合意に優先します。本契約のいかなる修正や変更も書面によってなされ、正式に権限を授与されたキヤノンの代表者によってかかる書面に署名された場合のみ発効するものとします。

以上

キヤノン電子株式会社

# はじめに

このたびはキヤノン imageFORMULA DR-1210C スキャナをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご活用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みいただくとともに、お読みになったあとは必ず保管してください。

## マニュアルの構成について

DR-1210C スキャナのマニュアルは、「簡単スタートガイド」、「ユーザーズガイド（本書）」の同梱マニュアルと、「CapturePerfect 操作ガイド」、「オンラインヘルプ」の電子マニュアルの構成になっています。

同梱品の確認からソフトウェアのインストール、コンピュータとの接続など、スキャナのセットアップについては「簡単スタートガイド」、スキャナの準備からスキャンなど、スキャナの取り扱いについては「ユーザーズガイド」を参照してください。

DR-1210C に同梱されているマニュアルは以下の構成になっています。DR-1210C をお使いになる前に必ずお読みください。

### 簡単スタートガイド

DR-1210C を箱から取り出してからスキャンを行なうまでのセットアップの手順について書かれています。

#### STEP.1 同梱品の確認

#### STEP.2 保護部材の取り外し～輸送用ロックの解除

#### STEP.3 ソフトウェアのインストール

#### STEP.4 コンピュータとの接続～電源のオン（スキャナの認識）

#### STEP.5 スキャン

### ユーザーズガイド（本書）

#### 第1章 お使いになる前に（P.5～）

DR-1210C をお使いになる前に守っていただきたい注意事項、DR-1210C についての特長、各部の名称、動作環境、セットアップディスクの内容で構成されています。

#### 第2章 スキャナの使用法（P.19～）

原稿について、DR-1210C の取り扱い、スキャン方法、こんなときは（スキャンを行なう際のヒント）、クイックガイド（ソフトウェアを設定する際の簡易ガイド）、で構成されています。

#### 第3章 付録（P.53～）

日常のメンテナンス、困ったときは（トラブルシューティング）、DR-1210C の仕様、サポート情報で構成されています。

# 本書内の表記について

ここでは、本書で使用している記号・表示について説明します。本書をお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

(→ P.12)

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。



## 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



## 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



## お願い

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。



## メモ

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

# 目次

はじめに .....	1
マニュアルの構成について .....	1
本書内の表記について .....	2
<b>第1章 お使いになる前に .....</b>	<b>5</b>
1. 安全にお使いいただくために .....	6
設置場所について .....	6
ACアダプタについて .....	7
スキャナの移動 .....	7
日常の取り扱いについて .....	8
廃棄について .....	9
2. DR-1210Cの特長 .....	10
3. 各部の名称と機能 .....	12
4. 動作環境の確認 .....	16
5. セットアップディスクについて .....	17
<b>第2章 スキャナの使用法 .....</b>	<b>19</b>
1. 原稿について .....	20
2. 原稿のセット .....	21
フィーダへの原稿のセット .....	21
フラットベッドへの原稿のセット .....	23
3. スキャン方法 .....	25
CapturePerfect によるスキャン .....	25
ジョブ機能によるスキャン .....	32
START ボタンによるアプリケーションの起動 .....	35
4. 紙詰まりの処理 .....	39
5. こんなときは .....	42
6. ソフトウェアの設定項目 .....	45
ISIS ドライバの設定項目 .....	46
TWAIN ドライバの設定項目 .....	48
ジョブ登録ツールの設定項目 .....	50
<b>第3章 付 録 .....</b>	<b>53</b>
1. 日常のお手入れ .....	54
本体の清掃 .....	54
搬送路の清掃 .....	54
読み取りガラスと圧着板の清掃 .....	55
ローラユニットと分離パッドの清掃 .....	56
2. 困ったときは .....	61
3. ソフトウェアのアンインストール .....	71
ISIS/TWAIN ドライバ/ジョブ登録ツールのアンインストール .....	73
CapturePerfect のアンインストール .....	74

4. 仕様 .....	76
仕様 .....	76
交換部品 .....	77
外形寸法図 .....	78
保証とアフターサービス .....	79
修理受付窓口 .....	80
サービス&サポートのご案内 .....	81
保守サービスのご案内 .....	82
アドビシステムズ社製品について .....	83
<b>索引 .....</b>	<b>85</b>



# **第 1 章 お使いになる前に**

---

1. 安全にお使いいただくために .....	6
設置場所について .....	6
AC アダプタについて .....	7
スキャナの移動 .....	7
日常の取り扱いについて .....	8
廃棄について .....	9
2. DR-1210C の特長 .....	10
3. 各部の名称と機能 .....	12
4. 動作環境の確認 .....	16
5. セットアップディスクについて .....	17

# 1. 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

## 設置場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が、次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。
- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。

室温 10℃—32.5℃

湿度 20%—80%RH

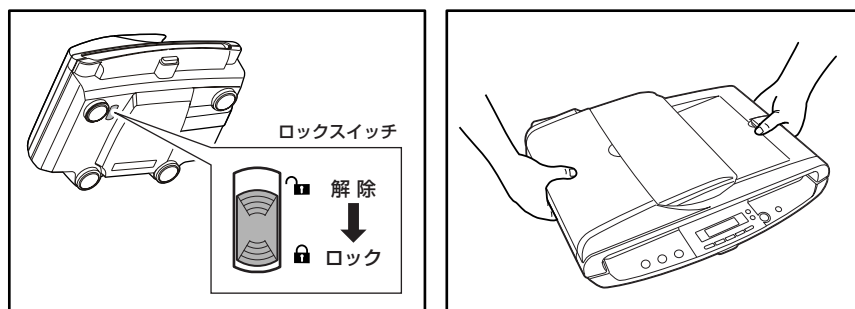
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気を発生する機器の近くは避けてください。

## AC アダプタについて

- 電源は必ず 100V のコンセントからとってください。
- 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
- AC アダプタの分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- AC アダプタおよび電源コードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、そのまま抜いてください。
- 非常時に電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。
- 付属の AC アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の AC アダプタを他の製品に使用しないでください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

## スキャナの移動

- スキャナを移動するときは、ロックスイッチを必ずロックし、本体を落とさないように必ず両手でしっかり持ってください。スキャナ本体の質量は約 6.1kg です。



- スキャナを移動したあとは、ロックスイッチを必ず解除してください。ロックスイッチをロックしたまま使用すると表示パネルにエラーが表示されます。(→P.15、63)
- スキャナを移動する場合は、インタフェースケーブルや AC アダプタを、必ず外しておいてください。ケーブル類を付けたまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクタが損傷することがあります。

## 日常の取り扱いについて



### 警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- タコ足配線をしないでください。
- 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- 付属の電源コード、ACアダプタ以外は使用しないでください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
- ACアダプタの分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一本機が破損した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



### 注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本機の上には、クリップ、ステイプルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

- 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。
- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ずACアダプタのプラグを本体から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などはご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源スイッチを切って機械を停止してください。
- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。
- フィーダの開閉は静かに行なってください。故障やけがの原因になることがあります。
- フィーダを閉じる時は、手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
- フィーダを上から強く押さえ付けしないでください。原稿台のガラスの破損など故障やけがの原因になります。
- フィーダの給排紙部や、原稿台のガラスの上には、スキャンする原稿以外のものを乗せないでください。故障やけがの原因になります。
- 冬期など低温下に放置されていたスキャナを使用する場合には、電源を入れ暫くしてから使用してください。結露やエラー表示などの原因になります。

## 廃棄について

- 本機およびACアダプタを廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するかお買い求めの販売店にご相談ください。

## 2. DR-1210C の特長

DR-1210C の主な特長は以下のとおりです。

- **フィーダスキャン**  
フィーダにより原稿の束を最大 12 枚 / 分で読み取ります。  
\* 但し、読み取りは、原稿のおもて面のみ、裏面は読み取りません。
- **フラットベッド**  
薄紙やすべりの悪い原稿、雑誌などの厚い原稿など、フィーダで読み取ることのできない原稿をフラットベッドで読み取ります。
- **USB2.0 インタフェース**  
コンピュータとの接続は、Hi-Speed USB2.0 で行います。
- **カラー / グレースケール対応**  
原稿を 24 ビットカラーや 256 階調グレースケールで読み取ることができます。
- **ジョブ機能**  
アプリケーションを起動しないで、操作パネルのボタン操作のみで読み取りを実行し、設定された方法で自動処理されます。
- **自動原稿サイズ検知**  
読み取った原稿のサイズを自動的に検知され、定型外原稿も原稿の周りの余分なスペースは省かれて保存されます。
- **斜行補正**  
原稿が斜めに給紙された場合、スキャンされた画像をまっすぐに補正します。
- **アドバンスドテキストエンハンスメントモード**  
下地が濃い原稿や薄い鉛筆書きの原稿の文字の部分をはっきりと読み取ります。  
\* 原稿によっては有効に機能しない場合があります。
- **カラースムージングモード**  
雑誌の写真などをカラーで読み取った時に発生するモアレを抑えます。
- **ドロップアウトカラー**  
原稿の中の特定の色を指定して読み取らないようにします。
- **バインダ穴消去**  
バインダに綴じられていた原稿を読み取った時にできる黒い穴の部分を消去します。
- **文字向き検知**  
原稿の中の文字の向きを検知し、文字の向きがまっすぐになるように読み取った画像を回転させます。
- **プレスキャン機能**  
読み取りを行なう前にプレスキャンを行ない、プレスキャンした画像で明るさとコントラストを調整してから読み取りを行ないます。

- **自動スタート**  
フィーダにセットされた原稿を検知して自動的にスキャンが開始される自動スタート機能を備えています。
- **省電力モード**  
国際エネルギースタープログラムに適合し、スキャン実行時以外は、省電力モードに入る省エネ設計です。



#### メモ

記載されている機能によっては、お使いのアプリケーションソフトウェアで使用できない場合があります。

### 3. 各部の名称と機能

ここでは各部の名称と機能について説明します。本機を使用する前にご確認ください。

#### ■ フィーダ

##### 給紙トレイ

原稿をセットするときに開きます。  
(→ P.21)

##### 原稿ガイド

原稿の幅に合わせて調整します。(→ P.22)

##### フィーダカバー

給紙切替レバーの操作や紙詰まりの処理および清掃の際に開きます。  
(→ P.39、57)

##### 排紙ストップ

スキャンした原稿が飛び出すようなときに使用します。(→ P.22)

##### 排紙口

スキャンした原稿が排紙されます。  
(→ P.22)

##### 操作パネル

(→ P.14)

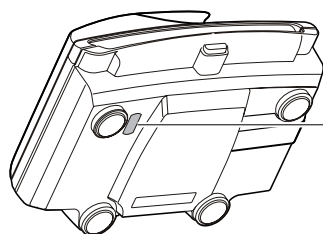
##### 電源ランプ

スキャナの電源がオンになると点灯します。

##### 電源スイッチ

スキャナの電源をオン、オフします。

#### ■ 底面

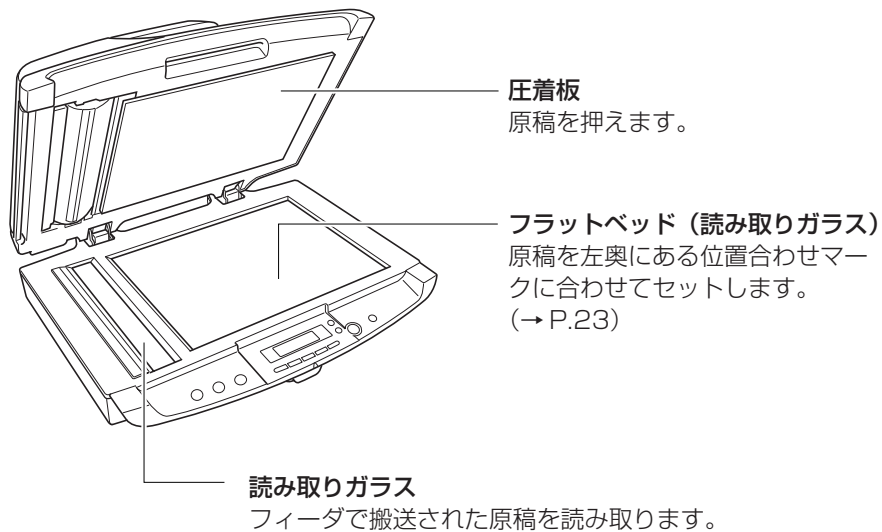


##### ロックスイッチ

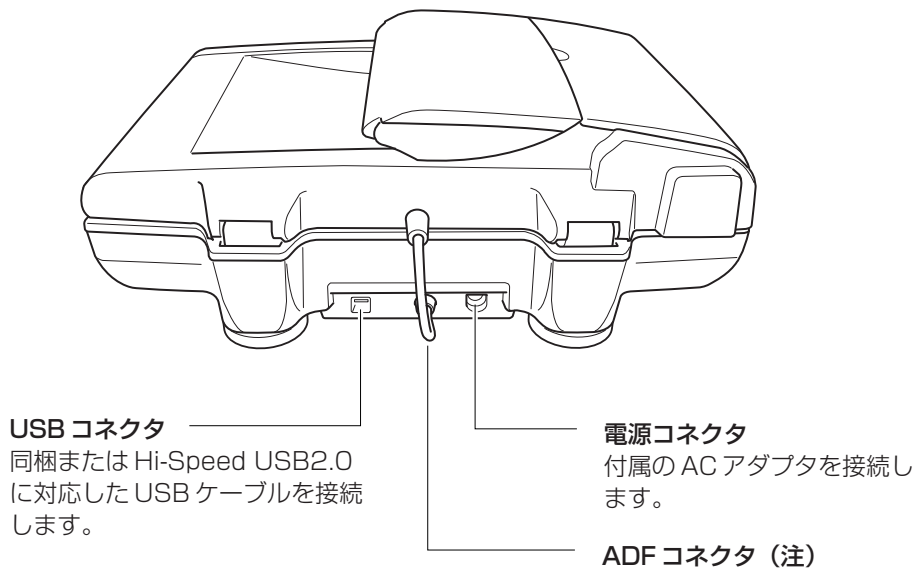
スキャナを移動するときにロックします。(→ P.7)



## ■ フラットベッド



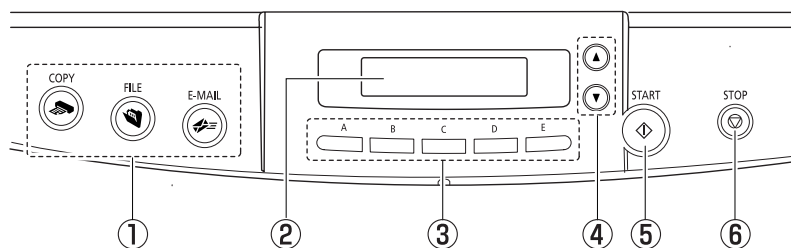
## ■ 背面



## 注意

ADF コネクタは絶対に抜かないでください。フィーダが使用できなくなります。  
(→ P.63)

## ■ 操作パネル



### ① ジョブボタン

特定のジョブが割り当てられているボタンで、それぞれ以下のジョブが実行されます。

#### (COPY)

スキャンを実行し、スキャンした画像を指定したプリンタで印刷します。

#### (FILE)

スキャンを実行し、スキャンした画像を指定したフォルダに保存します。






#### (E-MAIL)

スキャンを実行し、スキャンした画像を電子メールソフトウェアの新規メールに添付します。

### ② 表示パネル

ジョブ登録ツールで登録されたジョブや、スキャナの状態、エラーを示します。

#### (通常表示)

 Ready	ボタンまたは、PCからの操作待ち（待機中）
1.My Document	ジョブ表示
 COPY	COPY ボタンを押した時のジョブ表示
 FILE	FILE ボタンを押した時のジョブ表示
 E-MAIL	E-MAIL ボタンを押した時のジョブ表示
 スキャン中...	スキャン中
ジョブ処理中	ジョブの処理中（送信中）
送信完了	ジョブの処理が完了したとき



待機中...

原稿がなくなったときなど、次の操作待ち

### (エラー表示)



Ready

PCの電源が入っていない、USBケーブルが抜けてるなど、PCとの通信エラー (→P.61)



紙づまり

紙詰まりになったとき (→P.39)



ロックされています

底面のロックスイッチがロックされているとき (→P.7、63)



フィーダが接続されていません

背面のADFコネクタが抜けているとき (→P.13、63)

### ③ 任意ジョブボタン (A - E)

ジョブ登録ツールで登録されているジョブを割り当てます。

### ④ スクロールボタン (▲、▼)

登録されているジョブをスクロール表示します。

### ⑤ START ボタン

START ボタンには、以下の機能があります。

- ・ 任意ジョブボタンまたはスクロールボタンで選択したジョブを実行します。
- ・ アプリケーションからスキャンするときに、給紙オプションが「パネルで給紙」になっている場合のスタートボタンです。
- ・ イベント機能で設定されているアプリケーションを起動します。(→P.35)

### ⑥ STOP ボタン

スキャンを終了させたり、紙づまりなどのエラー表示をクリアします。



メモ

「ジョブボタン」、「任意ジョブボタン」は、ジョブ登録ツールにより設定します。(→P.33)

## 4. 動作環境の確認

本書に記載されている仕様を満たし、DR-1210C を快適にお使いいただくためには次のシステム要件を推奨します。

- オペレーティングシステム
  - ・ Microsoft Windows 2000 Professional SP4 以上
  - ・ Microsoft Windows XP Professional SP2 以上
  - ・ Microsoft Windows XP Home Edition SP2 以上
  - ・ Microsoft Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate/Enterprise (32ビット版/64ビット版)
- パーソナルコンピュータ
  - ・ CPU : Pentium4 1.8GHz 以上
  - ・ メモリ : 256MB 以上
  - ・ ハードディスク : 1GB 以上の空き容量
  - ・ USB インタフェース
  - ・ モニタ : 解像度 1024 × 768(XGA)以上
- 上記のシステム環境で正常に動作する ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェア。



### お願い

- お使いのコンピュータのシステム要件が不明な場合には、コンピュータをお買い求めになった販売店または、コンピュータメーカーのサポート窓口にお問い合わせください。
- USB2.0 ドライバはマイクロソフト社から提供されている最新のドライバをお使いください。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- USB インタフェースは、コンピュータに標準装備された USB ポートを使用してください。ただし、コンピュータに標準装備されたすべての USB インタフェースにおいて、動作を保証するものではありません。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- コンピュータに標準装備された USB インタフェースが USB Full-Speed (USB1.1 相当) の場合、スキャン速度が低下します。
- USB ケーブルは、同梱品または Hi-Speed USB2.0 対応のケーブルをお使いください。
- CPU、メモリ、インタフェースカード等、コンピュータの推奨仕様を満たさない場合、スキャン速度が大幅に低下したり転送速度に時間を要する場合があります。
- コンピュータの推奨仕様を満たしている場合でも、読み取りの設定によっては、スキャン速度が低下する場合があります。
- 同梱されている ISIS/TWAIN ドライバは、すべての ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで動作するとは限りません。詳細についてはアプリケーションソフトウェアの販売元にお問い合わせください。

## 5. セットアップディスクについて

DR-1210C セットアップディスクには、以下のソフトウェアが収納されています。

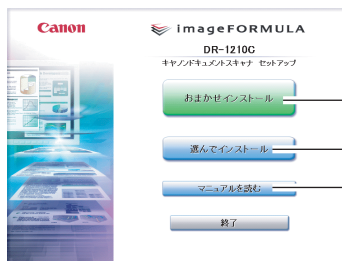
- **DR-1210C Driver**  
DR-1210C を使用するためのスキャナドライバと、ジョブ登録ツールです。
- **CapturePerfect3.0**  
キャノンドキュメントスキャナ用に開発された、ISIS 互換アプリケーションです。



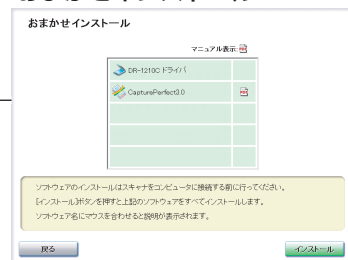
### メモ

DR-1210C セットアップディスクは、以下の構造になっています。  
ソフトウェアのインストールは、「おまかせインストール」または「選んでインストール」から実行します。

#### メニュー画面

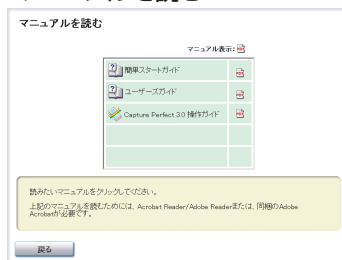


#### おまかせインストール



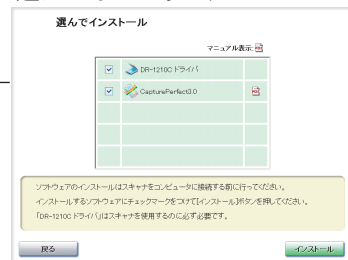
\* 表示されているすべてのソフトウェアがインストールされます。

#### マニュアルを読む



\* スキャナに同梱されている「簡単スタートガイド」、「ユーザーズガイド」および、「CapturePerfect3.0操作ガイド」です。

#### 選んでインストール



\* チェックマークを付けたソフトウェアがインストールされます。



## **第2章 スキャナの実用方法**

---

1. 原稿について .....	20
2. 原稿のセット .....	21
フィーダへの原稿のセット .....	21
フラットベッドへの原稿のセット .....	23
3. スキャン方法 .....	25
CapturePerfect によるスキャン .....	25
ジョブ機能によるスキャン .....	32
START ボタンによるアプリケーションの起動 .....	35
4. 紙詰まりの処理 .....	39
5. こんなときは .....	42
6. ソフトウェアの設定項目 .....	45
ISIS ドライバの設定項目 .....	46
TWAIN ドライバの設定項目 .....	48
ジョブ登録ツールの設定項目 .....	50

# 1. 原稿について

本スキャナは、フィーダ、フラットベッドにより以下のサイズの原稿を読み取ることができます。

## フィーダ

幅	: 148 ~ 216 mm
長さ	: 100 ~ 356 mm
厚さ	: 52 ~ 128 g/m <sup>2</sup> (0.06 ~ 0.15 mm)
積載量	: 最大 35 枚または、積載高さ 3.5mm (カール含む)

## フラットベッド

幅	: 216 mm
長さ	: 297 mm

フィーダで読み取る原稿について、以下の注意をよくお読みください。

- フィーダで原稿の束を一度に読み取るときは、原稿のサイズ、厚さ、紙質をそろえてください。異なる条件の原稿を給紙すると、紙詰まりの原因になります。
- インクが乾いていない原稿は、ローラや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。必ず乾かしてから読み取りを行ってください。
- 鉛筆などで書かれた原稿は、ローラや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。このような原稿を読み取ったあとは、フィーダカバーを開き内部を清掃してください。
- 薄い原稿を読み取ったときに、裏面の文字等が画像に写り込むことがあります。このような時は、読み取り条件の明るさを調整してください。
- 次のような原稿をフィーダで読み取ろうとすると、紙詰まりや故障の原因になります。このような原稿を読み取る時は、フラットベッドでスキャンしてください。



しわや折り目が入っている



半透明の薄紙など  
極端に薄い



四角いとじ穴がある



カール（巻き付け）  
がある



カーボン紙



クリップやステイ  
プルの針が付いている



破れている



表面がコーティ  
ングされている



## 2. 原稿のセット

原稿をスキャナにセットする手順について説明します。

フィーダは、複数枚の原稿の束を連続してスキャンする場合に使用し、フラットベッドは、フィーダにセットできない原稿をスキャンするときを使用します。

### フィーダへの原稿のセット

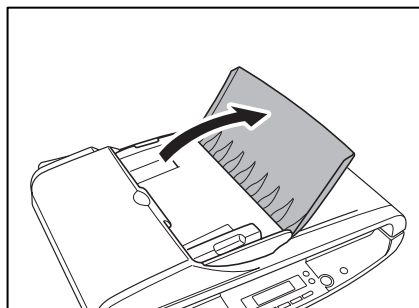


お願い

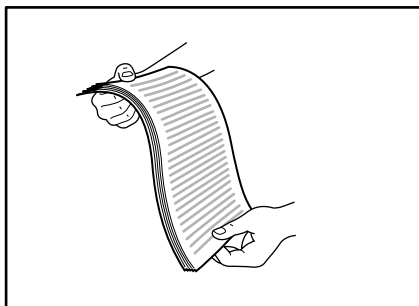
- 原稿をセットする前に、クリップやステイブルの針などが紛れ込んでいないか必ず確認してください。万一これらが紛れ込んでいると、大事な原稿が破れたり、紙詰まりを起こしたり、あるいは本機の故障の原因になります。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源プラグを本体から抜いて機械を停止してください。
- 原稿の先端がカールしていると原稿が折れたり紙詰まりの原因になります。カールが大きい場合にはカールを矯正してからスキャナにセットしてください。



1 給紙トレイを開きます。



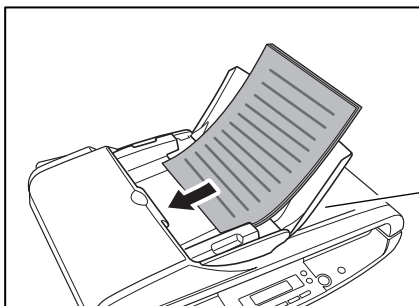
2 セットする原稿の束をさばきます。



**!** 注意

原稿をセットするときは慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。

**3** 原稿のおもて面を上にしてセットします。

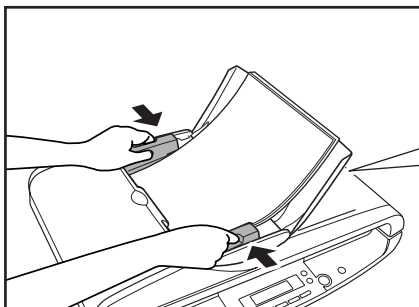


**!** 排紙口に原稿が残っているときは必ず取り除いてください。

**!** お願い

原稿の積載枚数はカールしていない原稿で最大 35 枚 または、カールを含めた原稿の高さが 3.5mm 以下です。ただし、原稿によって正しく給紙されない場合がありますので、このようなときには原稿の枚数を減らしてセットしてください。

**4** 原稿ガイドを原稿の幅に合わせて調整します。



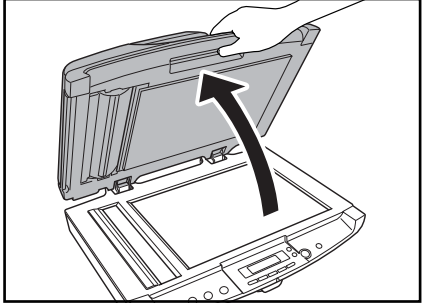
**排紙ストップ**  
スキャンした原稿が飛び出して落下するような時に開きます。

**!** お願い

- スキャンを始める前に、原稿が正しくセットされていることを確認してください。原稿が丸まっていたり折れている状態でスキャンを行うと原稿が破損することがあります。
- フィーダでスキャン中のときは、フィーダおよび、フィーダカバーを絶対に開かないでください。

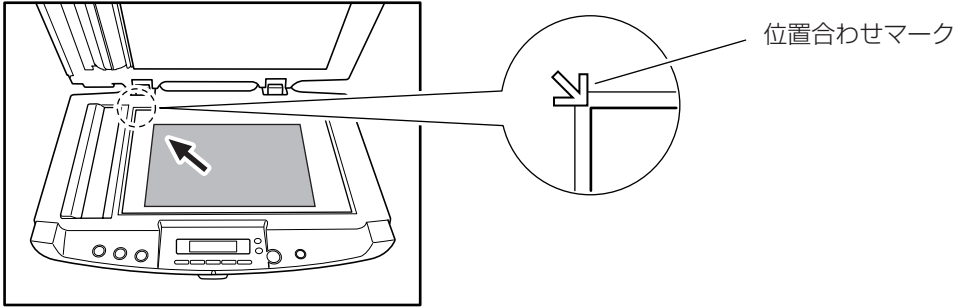
## フラットベッドへの原稿のセット

1 フィーダを静かに開きます。

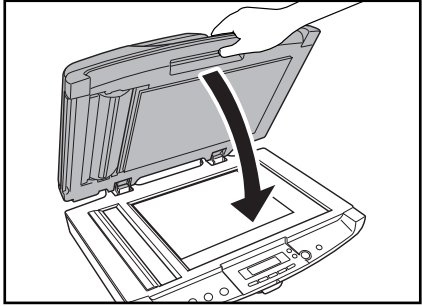


お願い  
フラットベッドのガラスの上にはスキャンする原稿以外のものを乗せないでください。故障、けがの原因になります。

2 原稿を裏返し、原稿の左上を位置合わせマークに合わせます。



3 フィーダを静かに閉じます。





## 注意

- フィーダを閉じる時は手を挟まないように注意しながら、静かに閉じてください。勢いよく閉じるとガラスの破損や故障、けがの原因になります。
- フィーダに厚い本などをセットしてスキャンするときは、フィーダを上から強く押さえ付けしないでください。フラットベッドのガラスが破損して故障、けがの原因になります。

### 3. スキャン方法

DR-1210Cのスキャン方法には、アプリケーションからスキャンを行なう他に、アプリケーションを起動しないで操作パネルのボタンの操作だけでスキャンを行なうことができるジョブ機能があります。

本項では、DR-1210Cに同梱されている「CapturePerfect」と「ジョブ機能」の概略とそれぞれのスキャンの手順について説明します。

なお、各アプリケーションおよびドライバのインストールについては「簡単スタートガイド」を参照してください。

#### CapturePerfect によるスキャン

CapturePerfectは、キヤノンドキュメントスキャナ用に開発されたISIS 互換アプリケーションソフトウェアです。

CapturePerfectには、以下のスキャン方法があり、スキャンメニューからスキャン方法を選択してスキャンを行ないます。

- **スキャンバッチファイル**

設定した読み取り条件でスキャンを行ない、指定したフォルダに画像ファイルを保存します。

- **スキャンバッチプリント**

設定した読み取り条件でスキャンを行ない、指定したプリンタでスキャンした画像を印刷します。

- **スキャンバッチメール**

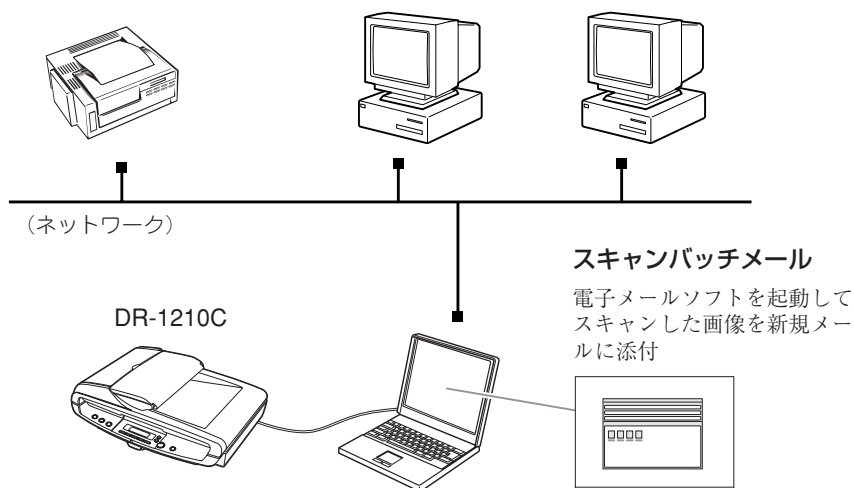
設定した読み取り条件でスキャンを行ない、電子メールソフトを起動させて、スキャンした画像を新規メールに添付します。

#### スキャンバッチプリント

スキャンした画像を指定したプリンタで印刷

#### スキャンバッチファイル

スキャンした画像を指定したフォルダへ保存



- **スキャン1ページ**

原稿を1枚スキャンして終了します。

- **スキャンジョブ**

読み取り条件とスキャン方法（スキャンバッチファイル、スキャンバッチプリント、スキャンバッチメール）をあらかじめジョブとして登録しておき、ジョブスキャンの実行は、ツールバーでジョブを選択（①）→スキャンジョブの実行（②）の2つの操作で行ないます。



### メモ

スキャンジョブには、あらかじめ以下の2つのジョブが登録されています。

- ・ **カラー文書**

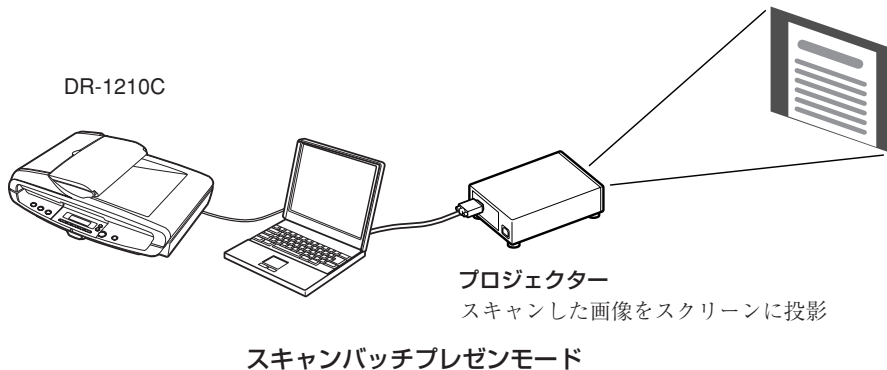
原稿を24ビットカラー、片面300dpiでスキャンし、画像ファイルをマイドキュメントの中にある [My Pictures] フォルダにPDF形式で保存します。

- ・ **白黒文書**

原稿を白黒、片面200dpiでスキャンし、画像ファイルをマイドキュメントの中にある [My Pictures] フォルダにPDF形式で保存します。

- **スキャンバッチプレゼンモード**

プレゼンテーションの会場など、大型ディスプレイやプロジェクターが接続された環境で使用する場合に有効なモードで、CapturePerfectを全画面表示に切り替えてスキャンを行ない、スキャンした画像をディスプレイに全画面表示します。



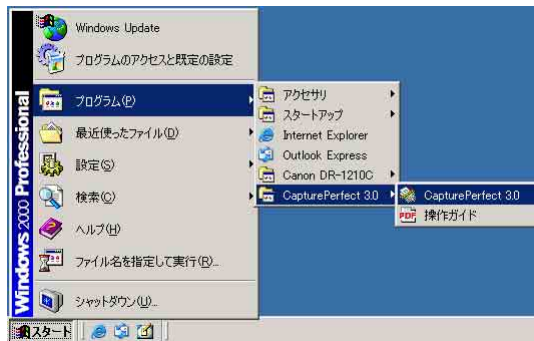
### メモ

CapturePerfectの詳細については、CapturePerfect操作ガイドおよび、CapturePerfectのヘルプに記載されています。CapturePerfectをお使いになる前にCapturePerfect操作ガイドまたは、ヘルプを参照してください。

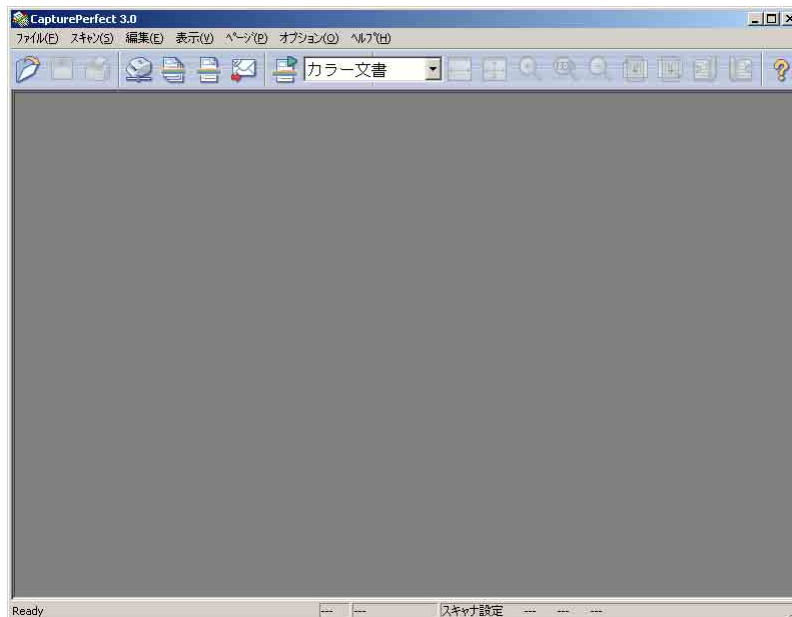
## CapturePerfect の操作手順

ここでは、CapturePerfect の起動からスキャナを選択までの手順と、「スキャンバッチファイル」によるスキャンまでの手順について説明します。  
詳細については、CapturePerfect 操作ガイドまたは、ヘルプを参照してください。

- 1 [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム](Windows XP および Windows Vista の場合は[すべてのプログラム])-[CapturePerfect3.0]-[CapturePerfect3.0]をクリックします。

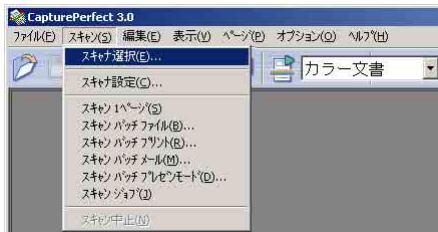


CapturePerfect が起動します。



## 2 使用するスキャナとして DR-1210C を以下の手順で選択します。

1. [スキャン] メニューから[スキャナ選択]をクリックします。



2. [Canon DR-1210C] を選択し、[OK] をクリックします。



### メモ

[Canon DR-1210C]が表示されないときは、ISIS/TWAIN ドライバのインストールをやり直してください。(→簡単スタートガイド「Step3. ソフトウェアのインストール」)

3. 用紙サイズの初期サイズを設定します。

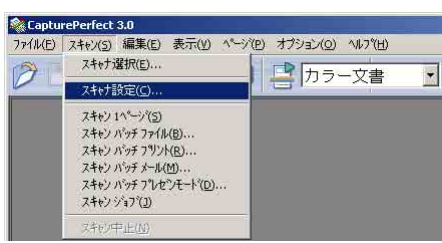


### メモ

このダイアログボックスは、[Canon DR-1210C]を初めて選択して [OK] をクリックした時、または「スキャナの選択」画面で [設定] をクリックすると表示されます。



3 [スキャン] メニューから[スキャナ設定]をクリックします。



ISIS ドライバの設定ダイアログボックスが開きます。



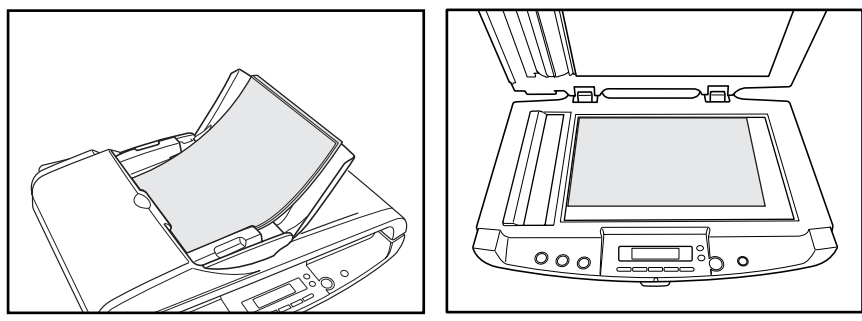
4 読み取り条件を設定します。  
読み取り条件の設定については「ISIS ドライバの設定項目」(→ P.46) および、ISIS/TWAIN ドライバのヘルプを参照してください。



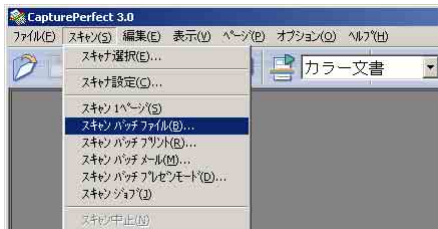
メモ

フラットベッドを使用するときは、給紙口の設定を[フラットベッド]にします。給紙口の設定が[自動]のときは、フィーダに原稿がないときにフラットベッドの原稿をスキャンします。(→ P.46 「ISIS ドライバの設定項目⑦」)

5 原稿をセットします。(→ P.21 「原稿のセット」)



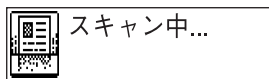
- 6** [スキャン] メニューから [スキャンバッチファイル] を選択します。  
ここでは、スキャンバッチファイルの操作手順について説明します。他のスキャン方法については、CapturePerfect 操作ガイドまたは、ヘルプを参照してください。



スキャンバッチファイル設定ダイアログボックスが開きます。



- 7** 保存するファイル名、ファイル形式を指定し、[保存] をクリックしてスキャンを開始します。  
スキャンが開始され、表示パネルに「スキャン中」が表示されます。



スキャンバッチファイル設定ダイアログボックスの設定については、「CapturePerfect 操作ガイド」または、ヘルプを参照してください。



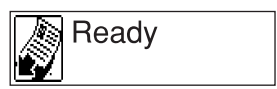
#### メモ

スキャナの電源をオンにした直後や、スキャナのランプが消えている状態からスキャンを開始すると、PC のモニタに「ウォームアップ中」を表示してからスキャンを行ないます。(→P.67「スキャン開始時に [ウォームアップ中] が表示される」)



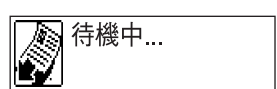
**8** セットした原稿がなくなると、スキャナ設定の給紙オプションの設定に合わせて表示パネルが「Ready」または「待機中」になります。

- 給紙オプションの設定が【標準給紙】の場合、「Ready」が表示されます。



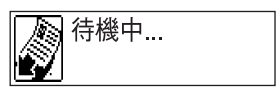
継続ダイアログボックスが表示されます。別の原稿をセットし [スキャン継続] をクリックしてスキャンを再開します。または、[スキャンストップ] をクリックしてスキャンを終了します。

- 給紙オプションの設定が【自動給紙】の場合、「待機中」が表示されます。



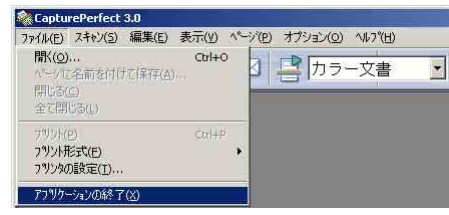
フィーダに別の原稿をセットしてスキャンを再開します。または、[STOP] ボタンを押してスキャンを終了します。

- 給紙オプションの設定が【パネルで給紙】の場合、「待機中」が表示されません。



別の原稿をセットし、[START] ボタンでスキャンを再開します。または、[STOP] ボタンを押してスキャンを終了します。

**9** スキャンが終了したら、[ファイル]メニューから[アプリケーションの終了]を選択し、CapturePerfect を終了させます。

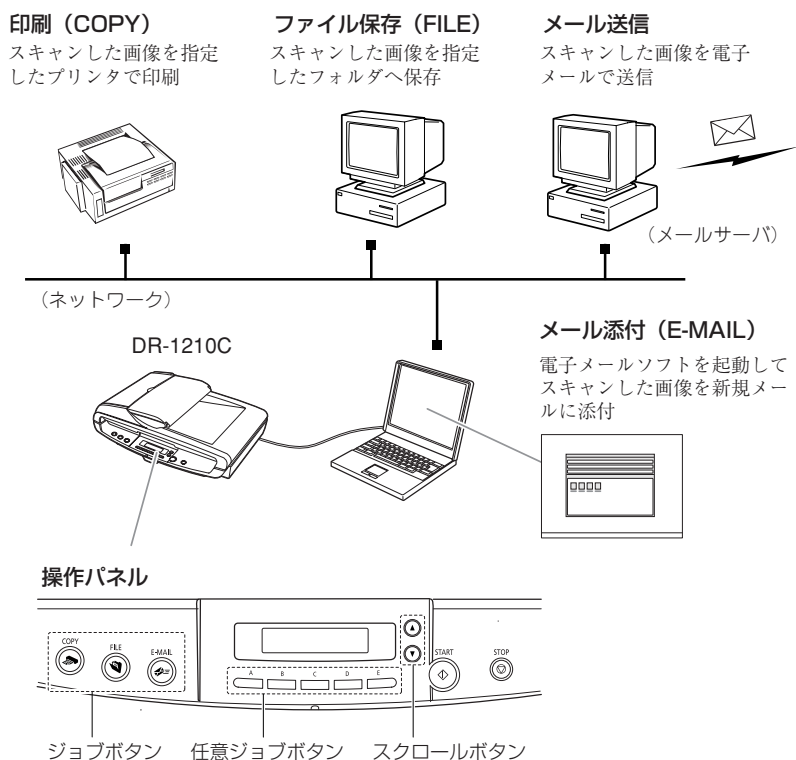


## ジョブ機能によるスキャン

ジョブ機能は、アプリケーションを起動しないで、操作パネルのボタン操作だけでスキャンを行なうための機能です。ジョブ機能によってスキャンされた画像データは、ジョブ登録ツールにより設定された条件で自動的に送信されます。

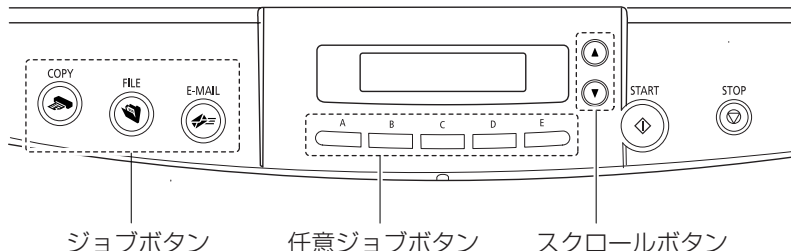
### ジョブ機能について

ジョブ機能には、以下の4つの機能があり、操作パネルにあるボタンを操作してスキャンを実行します。(→P.33「ジョブボタンについて」、「ジョブ登録ツールについて」)



## ジョブボタンについて

ジョブボタンには、あらかじめジョブ機能が割り当てられているジョブボタンの他に、ユーザーが任意のジョブを割り当てて使用する任意ジョブボタン、登録されているジョブを選択するためのスクロールボタンがあります。



### ● ジョブボタン

あらかじめジョブ機能が割り当てられている、[COPY (印刷)]、[FILE (ファイル保存)]、[E-MAIL (メール添付)] の3つのボタンで、ジョブ登録ツールで設定を変更します。

### ● 任意ジョブボタン

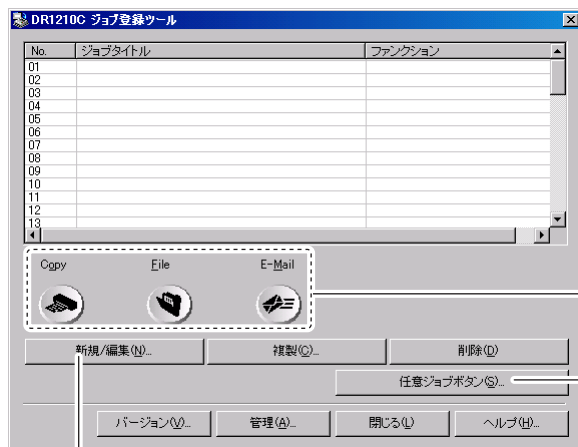
[A]～[E] の5つのボタンで、ジョブ登録ツールで登録したジョブを割り当てて使用します。任意ジョブボタンを押すと表示部に割り当てられたジョブが表示され、[START] ボタンでジョブが実行されます。

### ● スクロールボタン

表示されているジョブを [▲]、[▼] ボタンでスクロールして選択します。選択されたジョブは、[START] ボタンで実行します。

## ジョブ登録ツールについて

ジョブ登録ツールは、ISIS/TWAIN ドライバと一緒にインストールされる TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで、ジョブの登録（最大 50 個）と、ジョブボタンの設定および任意ジョブボタンへのジョブの割り当てを行ないます。



ジョブボタンの設定

任意ジョブボタンの割り当て

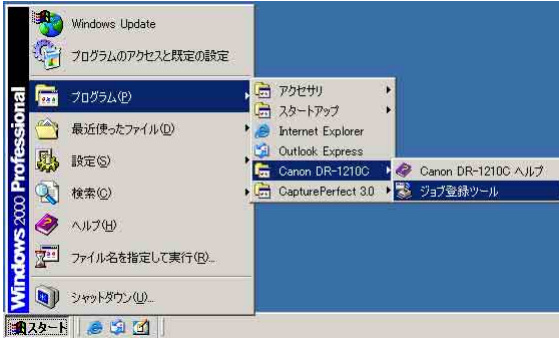
ジョブの登録

ジョブ登録ツールの設定については「ジョブ登録ツールの設定項目」(→P.50) および、ジョブ登録ツールのヘルプを参照してください。



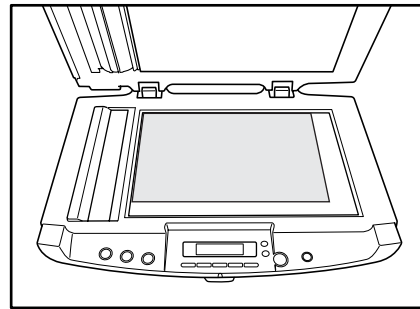
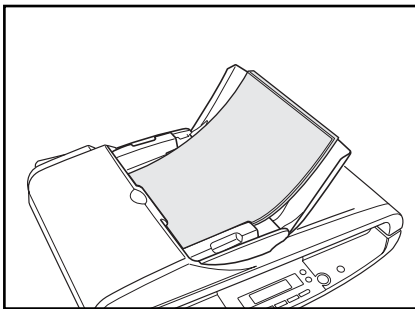
## メモ

ジョブ登録ツールは、[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム](Windows XPおよびWindows Vistaの場合は[すべてのプログラム])-[DR-1210C]-[ジョブ登録ツール]をクリックして起動させます。



## ジョブ機能の実行

### 1 原稿をセットします。(→P.21「原稿のセット」)



### 2 ジョブボタンを押してジョブを実行します。(→P.33「ジョブボタンについて」)

1. 表示パネルに選択したジョブを表示してスキャンを開始します。  
例) FILE ボタンを押した場合



2. スキャンが終了したら指定された条件で画像データを処理し(ジョブ処理中)、送信が完了したら表示パネルに「送信完了」が表示されます。





## メモ

スキャナの電源をオンにした直後や、スキャナのランプが消えている状態からジョブを実行すると、PCのモニタに「ウォームアップ中」を表示してからジョブを実行します。(→P.67「スキャン開始時に [ウォームアップ中] が表示される」)

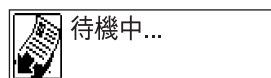


3 「送信完了」が表示されたら [STOP] ボタンを押してメッセージをクリアします。



## メモ

セットした原稿をスキャンした後、表示部が「待機中」になる時は、スキャナ設定の給紙オプションの設定が [自動給紙] または [パネルで給紙] になっています。このような時は、以下の操作を行ってください。



- 給紙オプションの設定が [自動給紙] の場合  
フィーダに別の原稿をセットしてスキャンを再開します。または、[STOP] ボタンでスキャンを終了します。
- 給紙オプションの設定が [パネルで給紙] の場合  
フィーダに別の原稿をセットし、[START] ボタンでスキャンを再開します。または、[STOP] ボタンでスキャンを終了します。

## START ボタンによるアプリケーションの起動

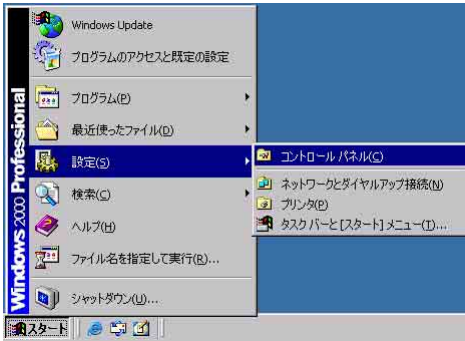
DR-1210Cは、Windowsのイベント機能に対応しており、[START] ボタンを押すことにより、イベント機能に対応した任意のアプリケーションを起動させることができます。

DR-1210Cをセットアップした直後の初期状態では、イベント機能に対応したすべてのアプリケーションが有効になっているため、スキャナがReady状態のときに [START] ボタンを押すと以下のダイアログボックスが表示されます。以降の手順にしたがってイベントの設定を変更してください。



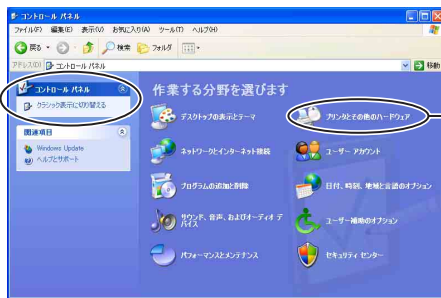
**1** 「イベント」の設定ダイアログボックスを以下の手順で開きます。

1. [スタート]ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル]をクリックしてコントロールパネルを開きます。(Windows XP および Windows Vista の場合、[スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。

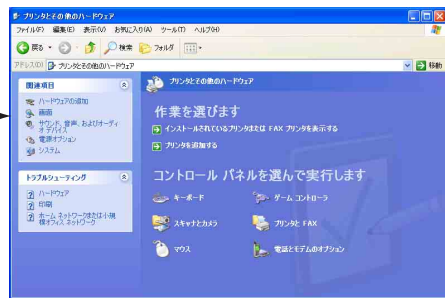


2. Windows XP の場合、コントロールパネルをクラシック表示に切り替えます。または、作業する分野で「プリンタとその他のハードウェア」を選択してください。

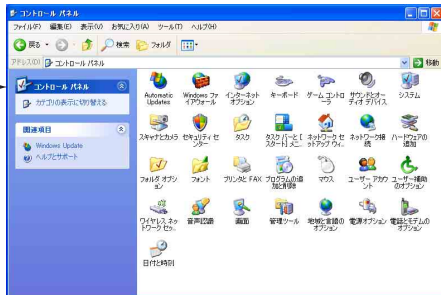
コントロールパネル (カテゴリ表示)



プリンタとその他のハードウェア



コントロールパネル (クラシック表示)

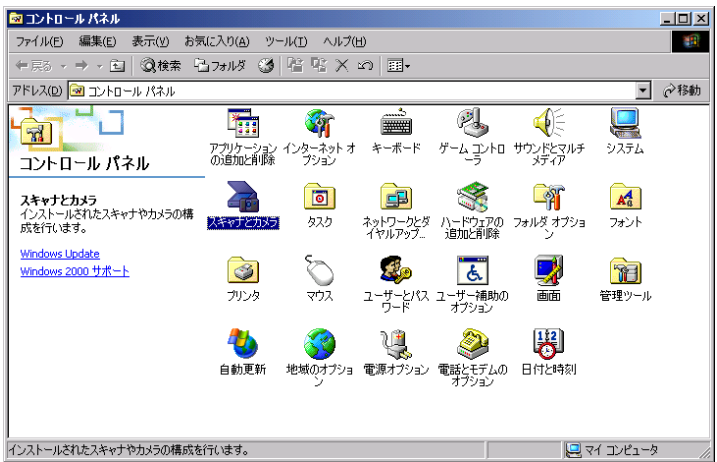


**メモ**

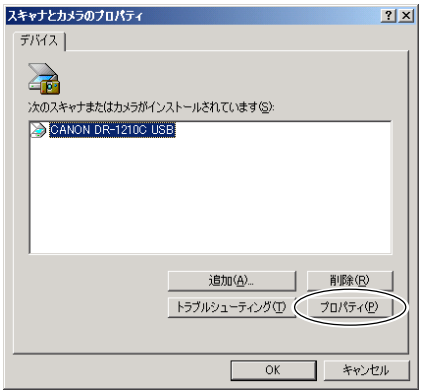
Windows Vista の場合、コントロールパネルをクラシック表示に切り替えます。または、作業する分野で「ハードウェアとサウンド」を選択してください。



3. 「スキャナとカメラ」をクリックします。



4. [CANON DR-1210C USB] を選択し、[プロパティ] をクリックします。



5. [イベント] タブをクリックします。

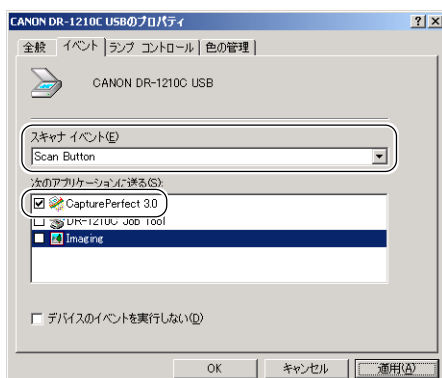


**2** イベントの設定をします。  
[イベント] タブの設定は、Windows によって設定方法が異なります。

**Windows 2000 の場合**

1. [スキャナイベント] を [Scan Button] に変更します。

2. 起動させるアプリケーションを1つだけ選択し、その他のアプリケーションのチェックをすべて外します。

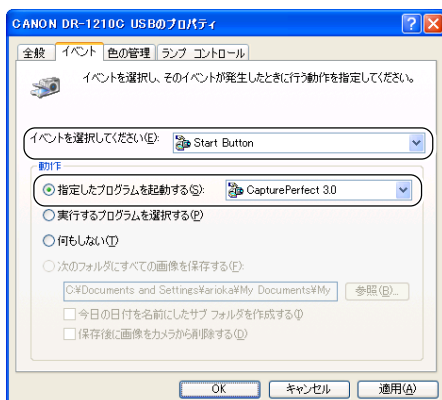


### お願い

【デバイスのイベントを実行しない】をチェックするとジョブ機能が使用できなくなります。このチェックボックスはチェックしないでください。

### Windows Vista/XP の場合

1. [イベントを選択してください] で [Start Button] を選択します。
2. イベントの動作で [指定したプログラムを起動する] を選択し、起動させるアプリケーションをリストから選択します。



### メモ

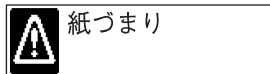
- 起動させるアプリケーションとして [DR-1210C Job Tool] は選択しないでください。ジョブ機能が使用できなくなります。
- イベントでアプリケーションを起動させた場合、アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。

**3** [OK] をクリックして「スキャナとカメラのプロパティ」を閉じます。

**4** イベント機能の設定変更を有効にするために Windows を再起動させます。

## 4. 紙詰まりの処理

フィーダでスキャン中に紙詰まりが発生したら、表示部にエラーが表示されます。以下の手順に従って紙詰まりの処理を行なってください。

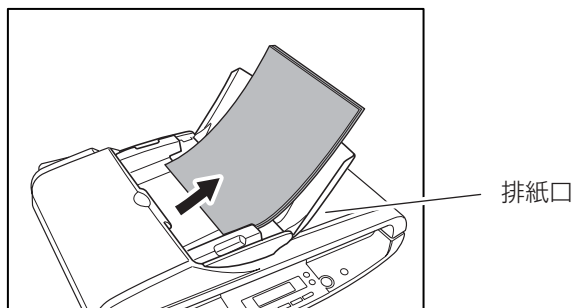


### 注意

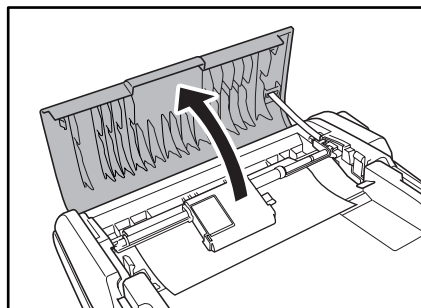
詰まった紙を取り除くときは慎重に行ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。



1 給紙トレイと排紙口に残っている原稿を取り除きます。



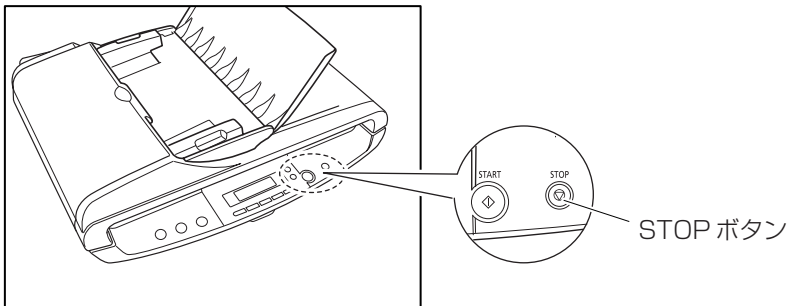
2 フィーダカバーを開き、詰まっている原稿の状態を確認します。



### メモ

フィーダカバーの内部に原稿が詰っていないときは、フィーダの裏側や排紙口を確認します。

- 3** 詰っている原稿に紙折れなどの異常がない時には、フィーダカバーを閉じてSTOP ボタンを押します。  
詰っている原稿が排紙され、エラー表示がクリアされます。

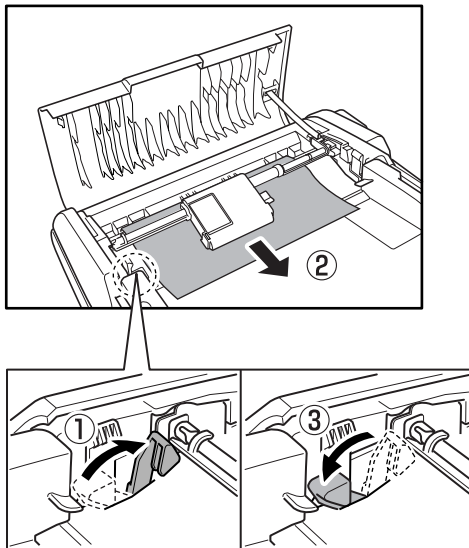


- 4** 詰っている原稿が斜行してたり、折れているときには、原稿を破らないように慎重に取り除きます。



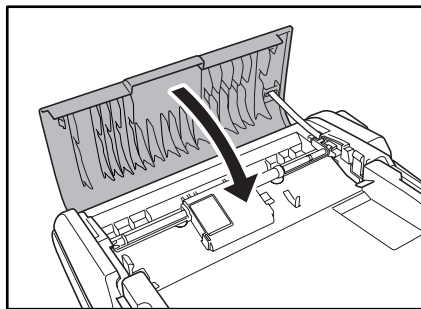
お願い

- 原稿は無理に引っ張らず慎重に取り除いてください。万一原稿が破れてしまった場合は、残りの紙片も必ず取り除いてください。
- 原稿を給紙側に引き出す場合は、ジャム処理用レバーを起こしてから ① 詰っている原稿を静かに引き出します ②。原稿を取り除いた後はジャム処理用のレバーを必ず元の位置に戻してください ③。ジャム処理用のレバーを起こした状態でスキャンを行なうと重送の原因になります。



ジャム処理用レバー

5 ▶ フィーダカバーを静かに閉じます。



6 ▶ STOP ボタンを押して、エラー表示をクリアします。



メモ

紙づまりの処理が終わったら、最後の原稿が記録されているかどうかを確認し、作業を続けてください。

## 5. こんなときは

DR-1210C でスキャンを行なう場合の設定例です。ISIS/TWAIN ドライバを設定する際の参考にしてください。該当項目の設定については、「ソフトウェアの設定項目」(→P.45) を参照してください。

### フラットベッドの読み取り

---

- フラットベッドでスキャンしたい。

給紙口の設定を「フラットベッド」または「自動」に設定します。給紙口の設定が「自動」のときは、フィーダに原稿がないときにフラットベッドの原稿を読み取ります。

→P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑦」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑦」

### 非定形サイズ原稿の読み取り

---

- 非定形サイズの原稿をスキャンしたい。

定形サイズを指定して非定形サイズの原稿をスキャンすると、原稿の周りに黒い部分ができます。非定形サイズの原稿をスキャンするときは、読み取りサイズの設定を「自動検知」に設定します。原稿のサイズが自動検知されます。

→P.46 「ISIS ドライバ設定 ③」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ③」

- 非定形サイズの原稿サイズを登録したい。

用紙サイズに登録されていない原稿サイズを「カスタム用紙サイズ」として登録することができます。

→P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑫」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑫」

- 原稿の一部をスキャンしたい。

スキャン領域を指定してスキャンします。但し、読み取りサイズの設定が「自動検知」のときは領域を指定することはできません。

→P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑬」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑬」

### 複数原稿の読み取り

---

- 1 度にセットできない原稿の束を複数の束に分けて連続スキャンしたい。

給紙オプションの設定を「自動」に設定します。原稿のセットをスキャナが検知すると自動でスキャンが開始されるため、原稿を繰り返しセットするだけで連続してスキャンを行なうことができます。

給紙オプションの設定を「パネルで給紙」に設定した場合は、原稿をセットしたあとに、START ボタンを押さないとスキャンが開始されません。原稿をセットしたあとに原稿を揃えるときになど有効です。

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑧」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑧」

- **連続スキャンで原稿の束ごとにファイルを分けたい。**

給紙オプションの設定を「自動」または「パネル」に設定し、バッチ区切りを「自動」にします。(ISIS ドライバのみ)

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑧, ⑨」

- **原稿の束を1枚ずつスキャンしたい。**

給紙オプションの設定を「自動」または「パネルで給紙」に設定して1枚ずつスキャンします。原稿を1枚スキャンするとパネル表示が「待機中」になります。給紙オプションの設定が「自動」のときは次の原稿をセットし、スキャナが原稿を検知すると次のスキャンを行いません。給紙オプションの設定が「パネルで給紙」のときは次の原稿をセットして [START] ボタンを押すと次のスキャンを行いません。

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑧」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑧」

## スキャンしたときの画像の調整

---

- **地色の濃い原稿をきれいにスキャンしたい。**

読み取りモードの設定を「アドバンスドテキストエンハンスメント」に設定します。原稿の地色が除去され、文字が強調されます。

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ②」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ②」

- **雑誌やカタログなどの写真をスキャンしたときに発生するモアレを抑えたい。**

[カラースムージング] チェックボックスをチェックします。画像を平均化し、モアレの発生を抑えます。

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑩」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑩」

- **特定の色を読み飛ばしたい。**

ドロップアウトカラーの設定で読み飛ばす色を指定します。

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑩」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑩」

- **特定の色（赤、青、緑）を強調したい。**  
ドロップアウトカラーの設定で強調したい色（赤強調、青強調、緑強調）を選択します。  
→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑯」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑮」
- **画像の輪郭をはっきりさせたい。**  
「エッジ強調」の設定を調整します。  
→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑮」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑭」
- **画像の周りにできる黒い部分を削除したい。**  
「黒枠消し」チェックボックスをチェックします。  
→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑰」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑯」
- **バインダに綴じられていた原稿をスキャンしたときにできる黒い丸の部分を削除したい。**  
「バインダの穴を削除」チェックボックスをチェックします。  
→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑳」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑰」

## プレスキャン

---

- **スキャンする前に画像を確認したい。**  
ISIS ドライバの場合、「プレスキャン」チェックボックスをチェックします。スキャン開始時にプレビューウィンドウが表示されます。  
→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑪」  
TWAIN ドライバの場合、「プレスキャン」チェックボックスをチェックして、「プレビュー」ボタンをクリックします。原稿を1枚スキャンしてプレビューウィンドウが表示されます。  
→ P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑩, ⑭」

## 設定の登録

---

- **設定したスキャン条件を次回も使用したい。**  
ユーザー設定に名前を付けて登録します。登録したユーザー設定の名前を選択すると、設定条件が反映されます。  
→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ①」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ①」  
CapturePerfect のジョブスキャンでは、スキャン条件の他に、スキャン方法も一緒にジョブとして登録でき、「ジョブ選択」 - 「スキャン実行」の2つの手順でスキャンを行なうことができます。



# 6. ソフトウェアの設定項目

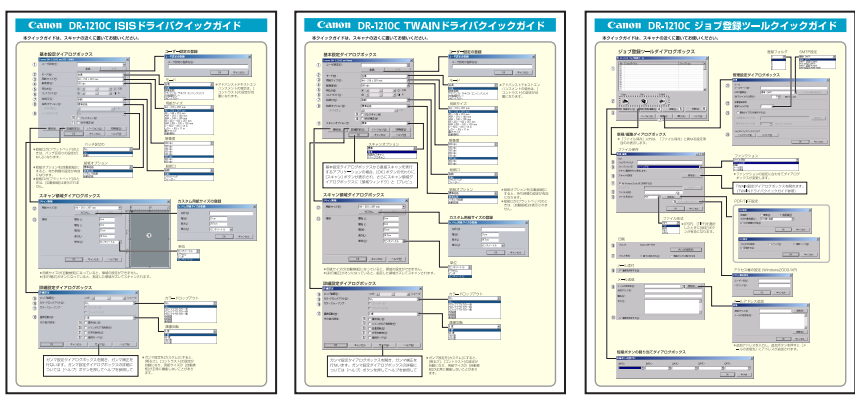
本項は、ISIS ドライバ、TWAIN ドライバおよび、ジョブ登録ツールを設定する際の設定項目について簡単に説明しています。詳細の説明についてはそれぞれのヘルプと合わせてお読みください。

ISIS ドライバの設定項目 ..... P.46  
 TWAIN ドライバの設定項目 ..... P.48  
 ジョブ登録ツールの設定項目 ..... P.50



メモ

セットアップディスクに納められている本ユーザーズガイドのPDF ファイルには、本項と同じ内容で「クイックガイド」が添付されています。プリンタで印刷し、スキャナの近くに置いてお使いください。

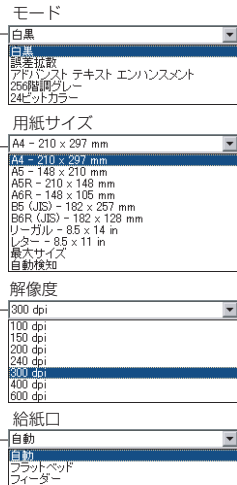


# ISIS ドライバの設定項目

## 基本設定ダイアログボックス



## ユーザ設定の登録



\* アドバンスドテキストエンハンスメントの場合は、[コントラスト]の設定が自動になります。

⑩  斜行補正 (D)

⑪  プレスキャン (P)

パッチ区切り

なし  
斜  
自動

\* 給紙口が[フラットベッド]のときは、パッチ区切りの設定が[なし]になります。

給紙オプション

標準給紙  
斜行補正  
パネルで給紙  
自動給紙

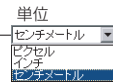
\* 給紙オプションを[自動給紙]にすると、待ち時間の設定が有効になります。

\* 給紙口が[フラットベッド]のときは、[自動給紙]は表示されません。

## スキャン領域ダイアログボックス



## カスタム用紙サイズの登録



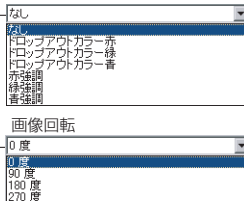
\* 用紙サイズが[自動検知]になっていると、領域の設定ができません。

\* [斜行補正]がオンになっていると、指定した領域がズレてスキャンされます。

## 詳細設定ダイアログボックス



## カラードロップアウト



ガンマ設定ダイアログボックスを開き、ガンマ補正を行ないます。ガンマ設定ダイアログボックスの詳細については [ヘルプ] ボタンを押してヘルプを参照してください。

\* ガンマ設定を[カスタム]にすると、[明るさ]、[コントラスト]の設定が自動になり、用紙サイズの [自動検知] が正常に機能しないことがあります。

## 基本設定ダイアログボックス

- ① ユーザー設定  
設定した内容に名称を付けて登録します。  
☞ 入力は、半角で32文字、全角で16文字以下。
- ② モード  
スキャンするモードを選択します。  
☞ [24ビットカラー] を選択すると、詳細設定ダイアログボックスの [カラースムージング] が有効になります。
- ③ 用紙サイズ  
スキャンする原稿のサイズを選択します。  
☞ [自動検知] を選択すると、原稿のサイズを検知してスキャンを行ないます。
- ④ 解像度  
スキャンする解像度を選択します。
- ⑤ 明るさ  
明るさを調整します。
- ⑥ コントラスト  
コントラストを調整します。  
モードの設定で [アドバンステキストエンハンスメント] が選択されていると、[コントラスト] は自動になります。
- ⑦ 給紙口  
原稿をセットする場所を選択します。  
☞ [自動] を選択すると、フィーダに原稿があるときはフィーダの原稿を読み取り、フィーダに原稿がないときはフラットベッドの原稿を読み取ります。  
☞ [フラットベッド] を選択すると、フラットベッドの原稿を読み取ります。  
☞ [フィーダー] を選択すると、フィーダの原稿を読み取ります。
- ⑧ 給紙オプション  
原稿の給紙方法を選択します。  
☞ [標準給紙] は、原稿をセットした後のスキャン操作をすべてアプリケーションで行ないます。  
☞ [パネルで給紙] は、原稿をセットした後、スキャナ本体のスタートボタンでスキャンを開始します。  
☞ [自動給紙] は、フィーダが原稿のセットを感知するとスキャンが開始されます。
- ⑨ バッチ区切り  
給紙オプションで [パネルで給紙]、[自動給紙] が選択されているときに有効になり、原稿の束毎にバッチを区切ることができます。
- ⑩ プレスキャン  
スキャン開始時に原稿を1枚スキャンし、プレスキャンウィンドウに画像を表示します。
- ⑪ 斜行補正  
原稿が斜めに給紙されたとき、スキャンした画像をまっすぐに補正します。

## スキャン領域ダイアログボックス

- ⑫ 用紙サイズ  
スキャンする原稿のサイズを選択します。  
☞ [カスタム] ボタンを押すと、非定型サイズの原稿をカスタム用紙サイズとして登録することができます。
- ⑬ 領域  
スキャンする領域を選択します。  
☞ 用紙サイズが [自動検知] の場合は無効になります。
- ⑭ 領域ウィンドウ  
用紙サイズの設定に合わせて表示が変化します。  
☞ マウスでドラッグして読み取り領域を指定することもできます。

## 詳細設定ダイアログボックス

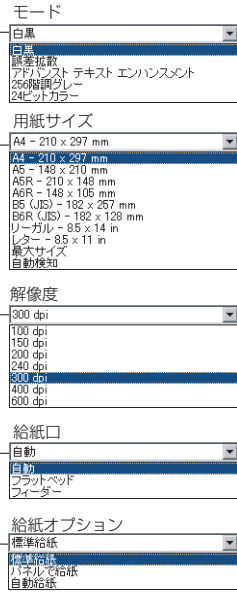
- ⑮ エッジ強調  
画像の輪郭を強調します。
- ⑯ ドロップアウトカラー  
読み取りのモードが [24ビットカラー] 以外のとときに有効で、赤/緑/青色の読み飛ばし (ドロップアウト) または、赤/緑/青色の強調を設定します。
- ⑰ カラースムージング  
雑誌やカタログなどの写真を [24ビットカラー] で読み取り、読み取ったカラー画像にモアレが発生するようになるときに使用します。このチェックボックスをオンにすると読み取った画像を平均化し、モアレの発生を抑えます。
- ⑱ 画像回転  
スキャンした画像の向きが正常になるように回転します。
- ⑲ 黒枠消し  
スキャンした画像の周りにできる黒い部分を消去します。
- ⑳ バインダの穴を削除  
バインダに綴じられていた原稿を読み取るときにできる黒い穴の部分を削除します。
- ㉑ 文字向き検知  
画像の中にある文字の向きを検知し、文字の向きが正常になるように90度単位で画像を回転させます。
- ㉒ 継続モード  
読み取り中に紙詰まりなどで搬送が停止したときに、アプリケーション側にエラーを送信しないで読み取りを中断します。搬送が停止した原因を処理した後、通常の操作で読み取りを継続することができます。

# TWAIN ドライバの設定項目

## 基本設定ダイアログボックス



## ユーザ設定の登録



\* アドバンスドテキストエンハンスメントの場合は、[コントラスト]の設定が自動になります。

\* 給紙オプションを[自動給紙]にすると、待ち時間の設定が有効になります。  
\* 給紙口が[フラットベッド]のときは、[自動給紙]は表示されません。

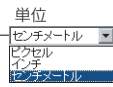
基本設定ダイアログボックスから直接スキャンを実行するアプリケーションの場合、[OK] ボタンの代わりに [スキャン] ボタンが表示され、さらにスキャン領域ダイアログボックスに [領域ウィンドウ] と [プレビュー] ボタンが表示されます。

## スキャン領域ダイアログボックス

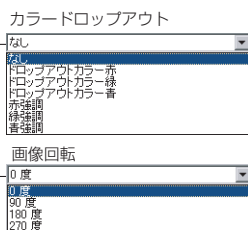


\* 用紙サイズが[自動検知]になっていると、領域の設定ができません。  
\* [斜行補正]がオンになっていると、指定した領域がズレてスキャンされます。

## カスタム用紙サイズの登録



## 詳細設定ダイアログボックス



ガンマ設定ダイアログボックスを開き、ガンマ補正を行いません。ガンマ設定ダイアログボックスの詳細については [ヘルプ] ボタンを押してヘルプを参照してください。

\* ガンマ設定を[カスタム]にすると、[明るさ]、[コントラスト]の設定が自動になり、用紙サイズの [自動検知] が正常に機能しないことがあります。

## 基本設定ダイアログボックス

- ① ユーザー設定  
設定した内容に名称を付けて登録します。  
☞ 入力は、半角で32文字、全角で16文字以下。
- ② モード  
スキャンするモードを選択します。  
☞ [24ビットカラー] を選択すると、詳細設定ダイアログボックスの [カラースムージング] が有効になります。
- ③ 用紙サイズ  
スキャンする原稿のサイズを選択します。  
☞ [自動検知] を選択すると、原稿のサイズを検知してスキャンを行いません。
- ④ 解像度  
スキャンする解像度を選択します。
- ⑤ 明るさ  
明るさを調整します。
- ⑥ コントラスト  
コントラストを調整します。  
☞ モードの設定で [アドバンステキストエンハンスメント] が選択されていると、[コントラスト] は自動になります。
- ⑦ 給紙口  
原稿をセットする場所を選択します。  
☞ [自動] を選択すると、フィーダに原稿があるときはフィーダの原稿を読み取り、フィーダに原稿がないときはフラットベッドの原稿を読み取ります。  
☞ [フラットベッド] を選択すると、フラットベッドの原稿を読み取ります。  
☞ [フィーダー] を選択すると、フィーダの原稿を読み取ります。
- ⑧ 給紙オプション  
原稿の給紙方法を選択します。  
☞ [標準給紙] は、原稿をセットした後のスキャン操作をすべてアプリケーションで行いません。  
☞ [パネルで給紙] は、原稿をセットした後、スキャナ本体のスタートボタンでスキャンを開始します。  
☞ [自動給紙] は、フィーダが、原稿のセットを検知するとスキャンが開始されます。
- ⑨ プレスキャン  
スキャン開始時に原稿を1枚スキャンし、プレスキャンウィンドウに画像を表示します。
- ⑩ 斜行補正  
原稿が斜めに給紙されたとき、スキャンした画像をまっすぐに補正します。
- ⑪ スキャンオプション  
スキャン時の動作を指定します。  
☞ [標準] は、読み取った原稿を排紙してから次の原稿をスキャンします。  
☞ [先き読みスキャン] は、原稿を連続してスキャンします。

☞ [1 ページスキャン] は、原稿を1枚だけスキャンします。

## スキャン領域ダイアログボックス

- ⑫ 用紙サイズ  
スキャンする原稿のサイズを選択します。  
☞ [カスタム] ボタンを押すと、非定型サイズの原稿をカスタム用紙サイズとして登録することができます。
- ⑬ 領域  
スキャンする領域を選択します。  
☞ 用紙サイズが [自動検知] の場合は無効になります。

## 詳細設定ダイアログボックス

- ⑭ エッジ強調  
画像の輪郭を強調します。
- ⑮ ドロップアウトカラー  
読み取りのモードが [24ビットカラー] 以外のときに有効で、赤/緑/青色の読み飛ばし (ドロップアウト) または、赤/緑/青色の強調を設定します。
- ⑯ カラースムージング  
雑誌やカタログなどの写真を [24ビットカラー] で読み取り、読み取ったカラー画像にモアレが発生するようなときに使用します。このチェックボックスをオンにすると読み取った画像を平均化し、モアレの発生を抑えます。
- ⑰ 画像回転  
スキャンした画像の向きが正常になるように回転します。
- ⑱ 黒枠消し  
スキャンした画像の周りにできる黒い部分を消去します。
- ⑲ バインダの穴を削除  
バインダに綴じられていた原稿を読み取る際にできる黒い穴の部分を削除します。
- ㉑ 白黒反転  
モードの設定が [白黒]、[誤差拡散]、[テキストエンハンスメント] のときに原稿を白黒反転させてスキャンします。
- ㉒ 文字向き検知  
画像の中にある文字の向きを検知し、文字の向きが正常になるように90度単位で画像を回転させます。
- ㉓ 継続モード  
読み取り中に紙詰まりなどで搬送が停止したときに、アプリケーション側にエラーを送信しないで読み取りを中断します。搬送が停止した原因を処理した後、通常の操作で読み取りを継続することができます。

# ジョブ登録ツールの設定項目

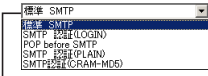
## ジョブ登録ツールダイアログボックス



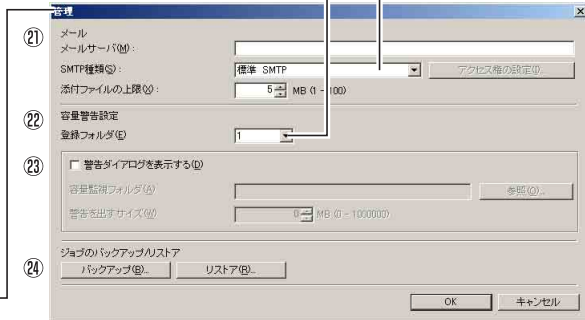
## 登録フォルダ



## SMTP設定



## 管理設定ダイアログボックス



## 新規/編集ダイアログボックス

\* 「ファイル保存」以外は、「ファイル保存」と異なる設定項目のみ表示します。

### ファイル保存



## ファンクション



\* ファンクションの設定に合わせてダイアログボックスが変更します。

TWAIN設定ダイアログボックスを開きます。  
(TWAINドライバクイックガイド参照)

## PDF/TIFF設定



## アクセス権の設定 (Windows2000/XP)



## メールアドレス追加



\* 追加アドレスを入力し、追加ボタンを押すと「メールの送信先」にアドレスが追加されます。

## 任意ジョブボタンの割り当てダイアログボックス





## ジョブ登録ツールダイアログボックス

- ① **ジョブ一覧**  
登録されているジョブを表示します。
- ② **ジョブボタン設定**  
スキャナのジョブボタンを設定します。
- ③ **【新規 / 編集】 ボタン**  
新規 / 編集ダイアログボックスを開きます。
- ④ **【複写】 ボタン**  
登録されているジョブを別の番号にコピーします。
- ⑤ **【削除】 ボタン**  
登録されているジョブを削除します。
- ⑥ **【任意ジョブ】 ボタン**  
ダイアログボックスを開き、表示パネルの手前にある任意ジョブボタン (A～E) にジョブを割り当てます。
- ⑦ **【管理】 ボタン**  
管理ダイアログボックスを開きます。

## 新規 / 編集ダイアログボックス

- ⑧ **ジョブタイトル**  
表示パネルに表示させるジョブのタイトルを入力します。
- ⑨ **ファンクション**  
スキャンボタンに割り当てる機能を選択します。  
☞ 編集ダイアログボックスは、[ファンクション] の選択によってダイアログボックスが変更します。
- ⑩ **スキャナの設定**  
TWAINドライバ設定ダイアログボックスを開きスキャン条件を設定します。
- ⑪ **My Pictuers フォルダに保存する**  
スキャンした画像ファイルをマイドキュメントの中にある My Pictuers フォルダに保存します。  
☞ このチェックボックスをオフにすると保存場所を指定できます。
- ⑫ **ファイル名**  
ファイル名を指定します。  
☞ 保存されるファイル名は、指定したファイル名にタイムスタンプが付加されて保存されます。
- ⑬ **ファイル形式**  
保存するファイル形式を選択します。  
☞ PDF/TIFF を選択した場合、[設定] ボタンが有効になります。
- ⑭ **【設定】 ボタン**  
ファイル形式で PDF/TIFF を選択したときに有効になり PDF/TIFF 設定ダイアログボックスを開きます。  
☞ PDF 設定ダイアログボックス では、[圧縮] の設定と [OCR] の設定を行いません。  
☞ TIFF 設定ダイアログボックス では、[マルチ TIFF 設定] と [圧縮] の設定を行いません。

- ⑮ **【アクセス権の設定】 ボタン**  
アクセス権の設定ダイアログボックスを開きます。  
☞ ネットワーク上の共有フォルダにアクセス権が無い場合に、アクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。
- ⑯ **プリンタ**  
「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタが表示され、[プリンタの設定] ボタンでプリンタの設定を変更します。
- ⑰ **プリント形式**  
印刷するサイズを指定します。  
☞ [実寸にあわせる] は、原稿と同じサイズで印刷します。  
☞ [用紙にあわせる] は、スキャンした画像が印刷する用紙より大きいときに、印刷する用紙のサイズに合わせて印刷します。スキャンした画像が印刷する用紙より小さいときは、原稿と同じサイズで印刷します。
- ⑱ **画像を保存する**  
「メール添付」、「メール送信」で、スキャンした画像を保存する場合にチェックします。
- ⑲ **メール送信設定**  
自動送信する電子メールの設定をします。
- ⑳ **【追加】 ボタン**  
送信先のメールアドレスを追加します。

## 管理ダイアログボックス

- ㉑ **メールサーバ設定**  
お使いのメールサーバを設定します。  
☞ メールサーバの設定については、メールサーバの管理者にお問い合わせください。
- ㉒ **容量警告設定**  
画像ファイルを保存するフォルダを指定し、そのフォルダに保存できる容量をあらかじめ設定しておきます。  
☞ 設定したフォルダを指定してスキャンを開始し、スキャン中に設定した容量を越えた場合に警告メッセージを表示します。
- ㉓ **登録フォルダ / 警告ダイアログを表示する**  
登録フォルダの番号を選択し、「警告ダイアログボックスを表示する」をチェックすると [容量監視フォルダ] と [警告を出すサイズ] が有効になります。  
☞ 容量警告が表示された時はメッセージに従ってスキャンを行なってください。
- ㉔ **ジョブのバックアップ / リストア**  
登録したジョブをバックアップ / リストア (復元) します。  
☞ バックアップファイルは、他の DR-1210 に復元させて使用することができます。





# 第3章 付 録

---

1. 日常のお手入れ .....	54
本体の清掃 .....	54
搬送路の清掃 .....	54
読み取りガラスと圧着板の清掃 .....	55
ローラユニットと分離パッドの清掃 .....	56
2. 困ったときは .....	61
3. ソフトウェアのアンインストール .....	71
ISIS/TWAIN ドライバ/ジョブ登録ツールのアンインストール .....	73
CapturePerfect のアンインストール .....	74
4. 仕様 .....	76
仕様 .....	76
交換部品 .....	77
外形寸法図 .....	78
保証とアフターサービス .....	79
修理受付窓口 .....	80
サービス&サポートのご案内 .....	81
保守サービスのご案内 .....	82
アドビシステムズ社製品について .....	83

# 1. 日常のお手入れ

読み取り品質を維持するために、以下のような日常の清掃を行ってください。

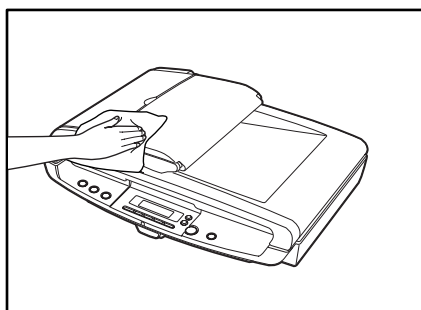


## 注意

- 本体およびフィーダ内部の清掃を行なうときは、安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてから清掃を行ってください。
- 清掃の際、スプレー容器は使用しないでください。精密機器が濡れて破損する恐れがあります。
- シンナーやアルコールなどの有機溶剤は決して使用しないでください。外装が変形、変色したり溶解する恐れがあります。また、火災や感電の原因になることもあります。

## 本体の清掃

本体表面は、水を染み込ませ固くしぼった布で汚れを落としたあと、きれいな乾いた布で拭きます。



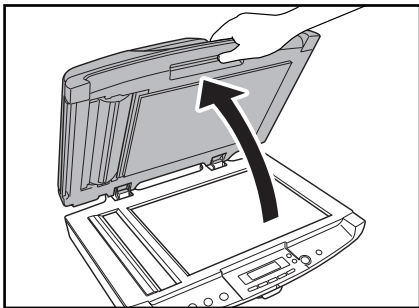
## 搬送路の清掃

給紙口やフィーダ内部の搬送路にほこりや紙粉がたまると、スキャンした画像にすじが入る原因になります。給紙口やフィーダ内部にたまったほこりや紙粉はブローなどを使って定期的に取り除いてください。また、大量の原稿をスキャンしたときなどは、スキャナの電源を切った後に紙粉の除去を行なってください。

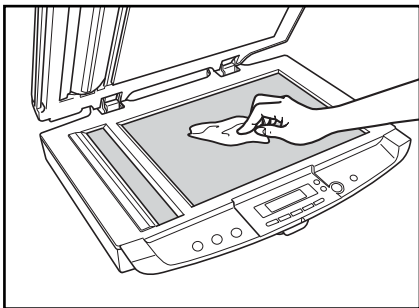
## 読み取りガラスと圧着板の清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れていたりする場合には、読み取りガラスや圧着板が汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

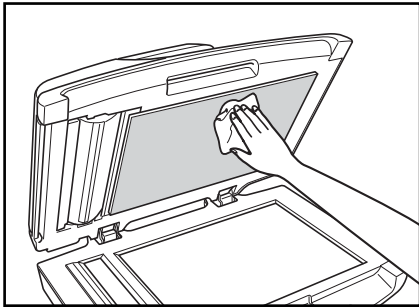
**1** フィーダを静かに開きます。



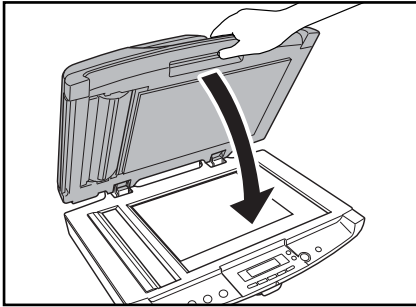
**2** きれいな乾いた布で読み取りガラスの汚れを拭き取ります。  
読み取りガラスは、フラットベッド（原稿台）と、フィーダ用の細長いガラスの2つあります。必ず両方のガラスを清掃してください。



**3** きれいな乾いた布で圧着板の汚れを拭き取ります。



- 4 フィーダを静かに閉じます。



**注意**

フィーダを閉じる時は静かに閉じてください。勢いよく閉じるとガラスの破損や故障、けがの原因になります。

## ローラユニットと分離パッドの清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れていたりする場合には、ローラユニットや分離パッドが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

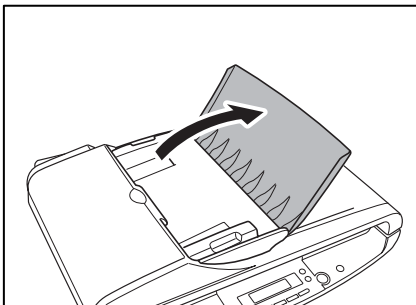


**メモ**

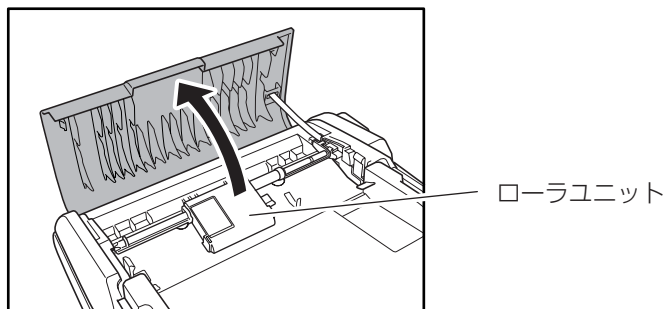
ローラユニットと分離パッドは、フィーダカバーの中にあります。ローラユニットと分離パッドを清掃するときは、以下の手順でローラユニットと分離パッドを取り外してから清掃してください。

### ローラユニットと分離パッドの取り外し / 清掃

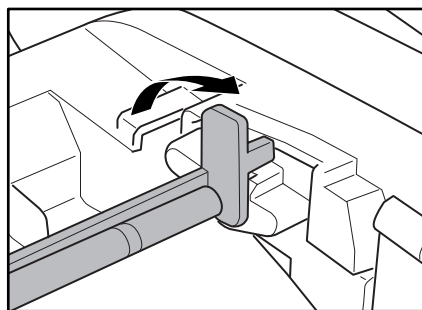
- 1 給紙トレイを開きます。



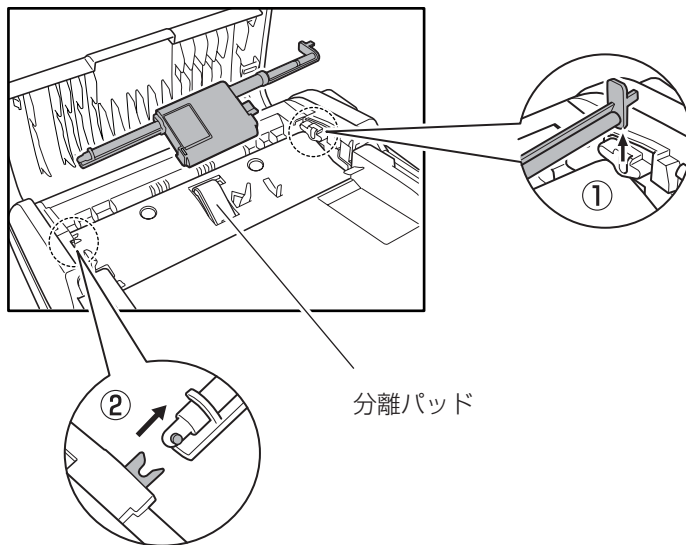
2 ▶ フィーダカバーを静かに開きます。



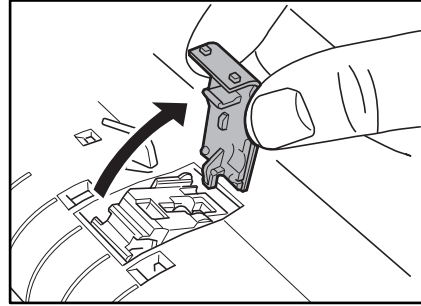
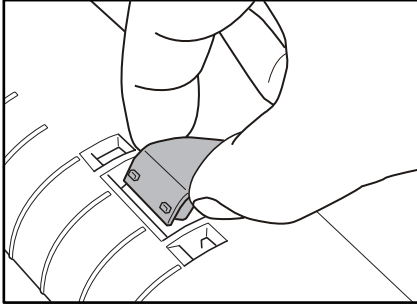
3 ▶ ローラユニットの固定レバーを起こします。



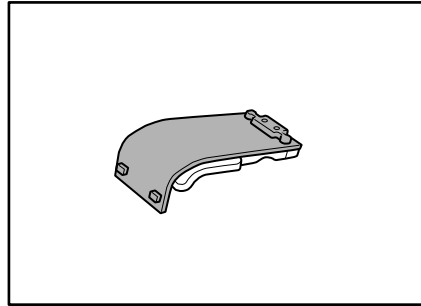
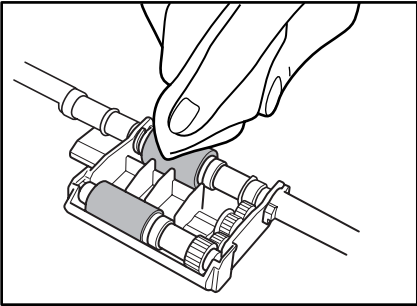
4 ▶ 中央のローラ部を持ち、固定レバー側から取り外します。



- 5 ▶ 分離パッドの両側を持ち、分離パッドを取り外します。

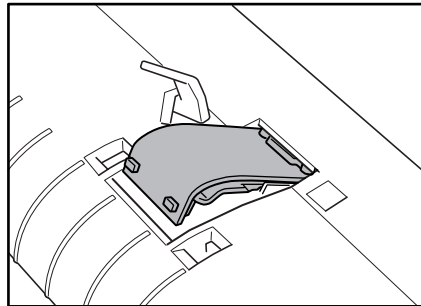
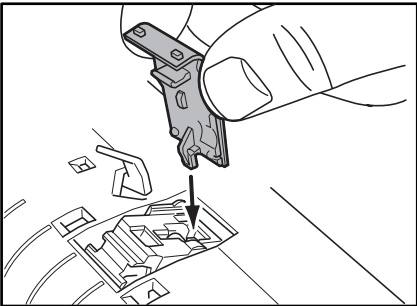


- 6 ▶ 水を染み込ませ固くしぼった布でローラと分離パッドの汚れを落とします。

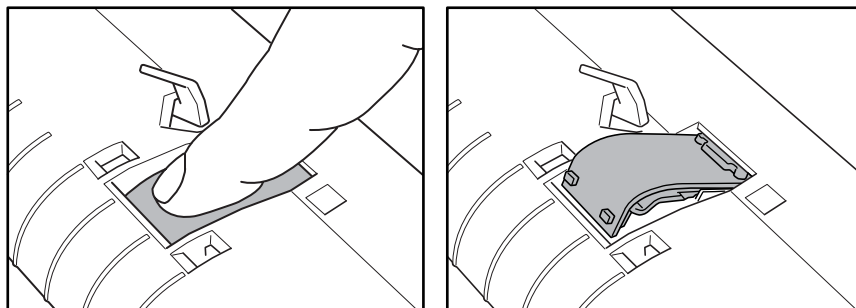


## ローラユニットと分離パッドの取り付け

- 1 ▶ 分離パッドを取り付けます。

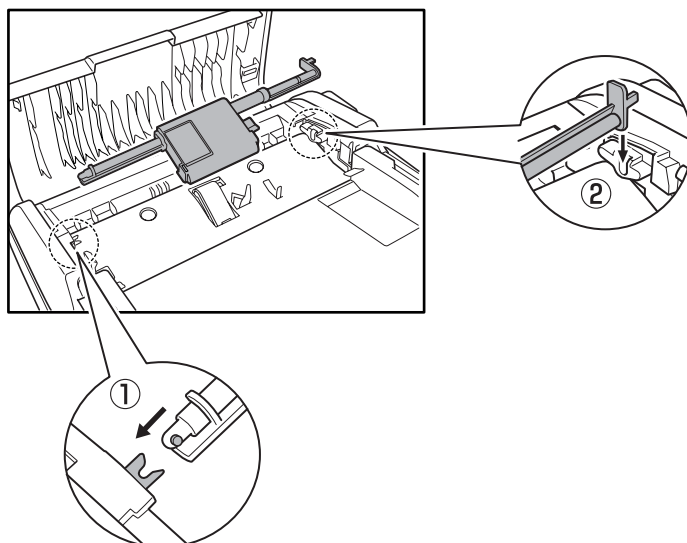


- 2** ▶ 分離パッドを「カチッ」と音がするまで押し込み、分離パッドがロックされたことを確認します。

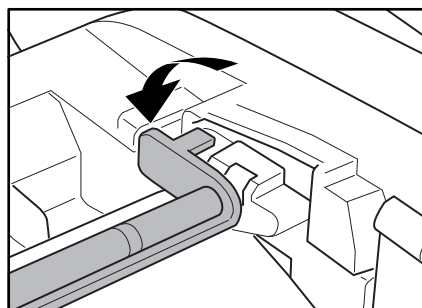


- 3** ▶ ローラユニットを①→②の順に取り付けます。

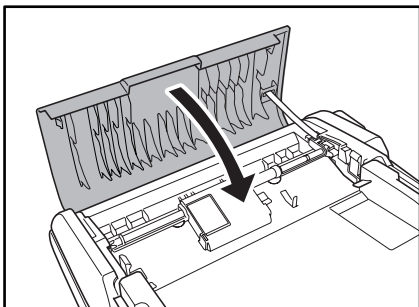
- ①：ローラユニットの軸のピンを本体側の切り欠きに合わせて差し込みます。  
 ②：固定レバーを垂直にした状態でセットします。



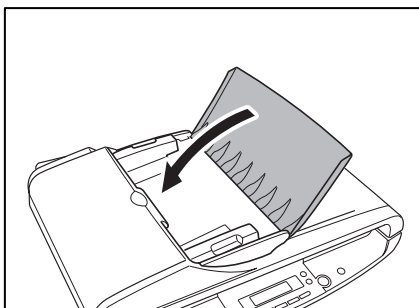
- 4** ▶ 固定レバーを倒してローラユニットをロックします。



- 5 フィーダカバーを閉じます。



- 6 給紙トレイを閉じます。



お願い

分離パッドとローラユニットは消耗品です。分離パッドとローラユニットを清掃しても改善が見られないようなときは、分離パッドまたは、ローラユニットの交換が必要です。お買い求めの販売店に連絡し、最初に分離パッドの交換を行います。分離パッドを交換しても改善が見られない場合にはローラユニットの交換を行なってください。



## 2. 困ったときは

ここでは、スキャナ使用時に起こりうる問題とその対処方法を説明しています。遭遇したトラブルに該当する参照先をお読みください。

電源が入らない ..... P.61  
 スキャナが認識されない ..... P.61  
 スキャンされない ..... P.62  
 エラーが表示される ..... P.63  
 スキャン速度が遅い ..... P.63  
 正しく給紙されない ..... P.64  
 保存した画像ファイルが開けない ..... P.65  
 スキャン結果がおかしい ..... P.65  
 スキャン開始時に「ウォームアップ中」が表示される ..... P.67

問題が解決しないときは、お買い求めの販売店または 74 ページに記載されているサービス窓口にご相談ください。

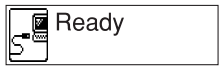
### × 電源が入らない

スキャナの電源が入らない時は、次のことを確認してください。

- 電源コードは正しく接続されていますか？
- 電源コードはコンセントに差し込まれていますか？

電源コードの接続については、簡単スタートガイド「Step 4. コンピュータとの接続」を参照してください。

### × スキャナが認識されない



コンピュータがスキャナを認識しないときは、表示パネルが上記の表示になり、以下の原因が考えられます。それぞれの原因に応じた方法で対処してください。

<b>原因</b>	スキャナが正しく接続されていない。
<b>対処方法</b>	スキャナとコンピュータが、USB ケーブルで正しく接続されていることを確認してください。（→簡単スタートガイド「Step 4. コンピュータとの接続」）

<b>原因</b>	USB2.0 インターフェースがスキャナに対応していない。
<b>対処方法</b>	本製品は、すべてのUSB インタフェースでの動作を保証していません。詳細については、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。(→P.16)
<b>原因</b>	USB ケーブルがスキャナに対応していない。
<b>対処方法</b>	同梱のUSBケーブルをご使用ください。(→P.16)
<b>原因</b>	USB HUB がスキャナに対応していない。
<b>対処方法</b>	USB HUB を取り外してご使用ください。(→P.16)

## × スキャンされない

読み取りの動作を行ってもスキャンされないときは、次のことを確認してください。

- アプリケーションソフトウェアは正しくインストールされていますか？ また、アプリケーションソフトウェアでの設定は正しく行われていますか？
- コンピュータのシステムに異常はありませんか？



### お願い

- 読み取りのための設定をしても正常に読み取りが行われない場合は、スキャナドライバまたはアプリケーションソフトウェアが正常に動作していない可能性があります。スキャナドライバまたはアプリケーションソフトウェアを再インストールしてください。
- システムエラーなどによりスキャナがまったく動作しなくなったときは、スキャナの電源をオフにし、10秒以上待ってからスキャナの電源を入れてください。その後、エラーが続けて発生するようなときは、コンピュータを再起動してください。
- 読み取りを続けるときは、最後の原稿が正しく読み取られていることを確認してください。


## × エラーが表示される

スキャンを開始した時に表示パネルにエラーが表示されるときは、以下の原因が考えられます。それぞれの原因に応じた方法で対処してください。

エラー表示  ロックされています

**原因** 底面にあるロックスイッチが解除されていません。

**対処方法** ロックスイッチを解除し、「STOP」ボタンを押してエラー表示をクリアします。(→ P.7)

エラー表示  フィーダが接続されていません

**原因** 背面にある ADF コネクタが抜けています。

**対処方法** ADF コネクタを奥まで差し込み、「STOP」ボタンを押してエラー表示をクリアします。(→ P.13)

## × スキャン速度が遅い

スキャン速度が遅いときは、以下の原因が考えられます。それぞれの原因に応じた方法で対処してください。

**原因** 他のアプリケーションが起動している。

**対処方法** 起動中の他のアプリケーションを終了させてください。

**原因** ウィルス対策アプリケーションなど常駐しているアプリケーションによりメモリが不足している。

**対処方法** 常駐しているアプリケーションを終了させてください。

**原因** ハードディスクの空き容量が少ないため、TEMP フォルダに一時ファイルを作れない。

**対処方法** ハードディスクのファイルを整理してハードディスクの空き容量を増やしてください。

**原因** お使いの USB ポートが Hi-Speed USB2.0 に対応していない。

**対処方法** コンピュータに標準搭載されている USB ポートが Hi-Speed USB2.0 に対応していない場合、スキャン速度が低下します。(→ P.16) Hi-Speed USB2.0 に対応した USB を標準搭載しているコンピュータでお使いください。

原因	USB ケーブルが Hi-Speed USB2.0 に対応していない。
対処方法	同梱の USB ケーブルをご使用ください。(→ P.16)
原因	USB HUB が Hi-Speed USB2.0 に対応していない。
対処方法	USB HUB を取り外してご使用ください。(→ P.16)

## × 正しく給紙されない

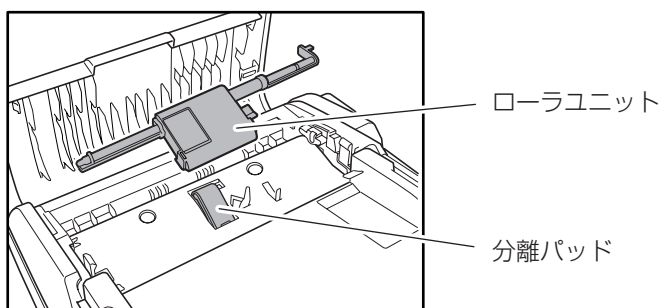
原稿が正しく給紙されないときは、以下の原因が考えられます。それぞれの原因に応じた方法で対処してください。

原因	静電気などが原因で原稿が密着し、スキャナで正常に分離できない。
対処方法	原稿をセットする前に、原稿の束をよくさばいてからスキャナにセットしてください。(→ P.21 「原稿のセット」)
原因	スキャナで読み取ることができないサイズ・紙厚・紙質の原稿を読み取ろうとした。
対処方法	原稿のサイズ・紙厚・紙質を確認してください。原稿についての注意事項は、P.20 「原稿について」を参照してください。
原因	フィーダ内部のローラユニット、分離パッドが汚れていたり摩耗している。
対処方法	ローラユニットと分離パッドを清掃してください。(→ P.56 「ローラユニットと分離パッドの清掃」)



### お願い

分離パッドとローラユニットは消耗品です。分離パッドとローラユニットを清掃しても改善が見られないようなときは、分離パッドまたは、ローラユニットの交換が必要です。お買い求めの販売店に連絡し、最初に分離パッドの交換を行います。分離パッドを交換しても改善が見られない場合にはローラユニットの交換を行なってください。



## × 保存した画像ファイルが開かない

CapturePerfect で保存した画像ファイルが他のアプリケーションで開けない場合には、以下の原因が考えられます。状況を確認し、対応する処置をしてください。

<b>現象</b>	CapturePerfect で保存したマルチページ TIFF ファイルが他のアプリケーションで開けない。
<b>原因</b>	開こうとしたアプリケーションがマルチページ TIFF ファイルに対応していません。
<b>対処方法</b>	マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションで開いてください。
<b>現象</b>	CapturePerfect で保存した TIFF ファイルが他のアプリケーションで開けない。
<b>原因</b>	CapturePerfect で保存した TIFF ファイルが圧縮されている場合、開こうとしたアプリケーションが、CapturePerfect で保存した圧縮形式に対応していません。
<b>対処方法</b>	画像ファイルの圧縮形式を [なし] に設定して CapturePerfect で保存し直してください。

## × スキャン結果がおかしい

読み取った画像が鮮明でなかったり、画像に筋や汚れが付いているなど、スキャン結果の画像に問題があるときは、ISIS/TWAIN ドライバの設定が正しくなかったり、スキャナ内部の読み取りユニットに問題があることが原因として考えられます。また、ISIS/TWAIN ドライバが、正常にインストールされていなかったり、使用しているアプリケーションが ISIS/TWAIN ドライバの機能に対応していないこともスキャン結果がおかしくなる原因となります。

<b>現象</b>	スキャンした画像が濃い（または薄い）
<b>原因</b>	「明るさ」の設定が適正な値になっていません。
<b>対処方法</b>	画像が濃い場合には「明るさ」の設定値を高く、画像が薄い場合には「明るさ」の設定値を低く調整してください。（→P.45「ソフトウェアの設定項目」）
<b>現象</b>	原稿の裏面の文字が画像に写り込む。（裏写り）
<b>原因</b>	「明るさ」の設定値が低過ぎる。または、紙厚が薄い。
<b>対処方法</b>	「明るさ」の設定を高くしてください。（→P.45「ソフトウェアの設定項目」）

---

**現象** スキャンした原稿の周りに黒い枠ができる。

**原因** 設定した用紙サイズより小さい原稿をスキャンした。または、セットした原稿の位置がずれている。

**対処方法** 「用紙サイズ」の設定を「自動検知」に設定する。または、「黒枠消し」の設定をオンにします。（→P.45「ソフトウェアの設定項目」）

---

**現象** スキャンした画像がななめになる。

**原因** 原稿が斜めに搬送されている。（斜行）

**対処方法** 「斜行補正」をオンにします。（→P.45「ソフトウェアの設定項目」）

---

**現象** 画像にスジや汚れが入る。

**原因** 読み取りガラスやフィーダ内部のローラが汚れています。

**対処方法** 読み取りガラスおよびローラを清掃してください。（→P.54「日常のお手入れ」）

**読み取りガラスにキズが付いている場合にも画像にスジが入る原因になります。このようなときは、お買い求めの販売店または担当サービスに連絡してください。**

---

**現象** 原稿によって画像が異常になる。

**原因** 原稿の端まで文字や写真などがある原稿をスキャンするときに、自動サイズ検知や、斜行補正、黒枠消しなどの機能を使用した。（原稿の端を正確に処理できない）

**対処方法** 原稿の端まで文字や写真などがある原稿の場合は、自動サイズ検知や、斜行補正、黒枠消しなどの機能を無効にしてスキャンしてください。（→P.45「ソフトウェアの設定項目」）

---

**現象** アプリケーションによって画像が異常になる。

**原因** アプリケーションが対応していない機能を使用した。

**対処方法** アプリケーションによっては、用紙サイズの自動検知などには対応していないことがあります。このようなアプリケーションで読み取りを行った場合、異常なスキャン結果になることがあります。用紙サイズの自動検知などを行わずにスキャンしてみてください。

---

## × スキャン開始時に「ウォームアップ中」が表示される



DR-1210Cは光源のランプにCCFL（冷陰極管）を使用しているため、スキャンを行なう時にはランプの光量が安定するのを待ってからスキャンを開始します。そのため、スキャナの電源をオンにした直後やスキャナが省電力モードに移行してランプが消えている状態からスキャンを開始するとランプの光量が安定するまで「ウォームアップ中」を表示します。（→P.30、35）

「ウォームアップ中」の表示は、ランプの状態によって表示される時間が変わります。

### 「ランプコントロール」の設定

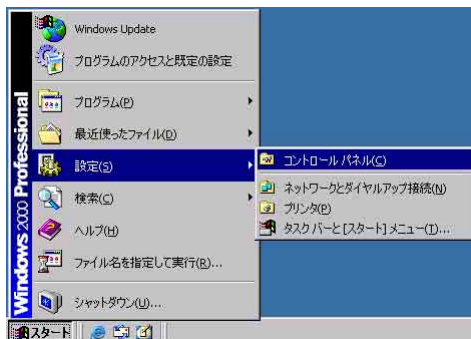
DR-1210Cは初期設定により、12分間操作しないと省電力モードに移行してランプが消えるように設定されています。そのため、スキャン間隔が12分以上開いた場合、ランプが消えているためにスキャン開始時に「ウォームアップ中」が表示されます。

「ランプコントロール」は、省電力モードに移行するまでの時間を変更するための設定で、スキャン間隔が12分以上開いた場合でも「ウォームアップ中」を表示させないでスキャンを開始することができます。

「ランプコントロール」の設定は、「スキャナとカメラのプロパティ」で行ないます。以降の手順にしたがって設定を変更してください。

#### 1 「ランプコントロール」の設定ダイアログボックスを以下の手順で開きます。

1. [スタート]ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル]をクリックしてコントロールパネルを開きます。（Windows XP および Windows Vista の場合、[スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。



- Windows XP の場合、コントロールパネルをクラシック表示に切り替えます。または、作業する分野で「プリンタとその他のハードウェア」を選択してください。

コントロールパネル (カテゴリ表示)

プリンタとその他のハードウェア



コントロールパネル (クラシック表示)



メモ

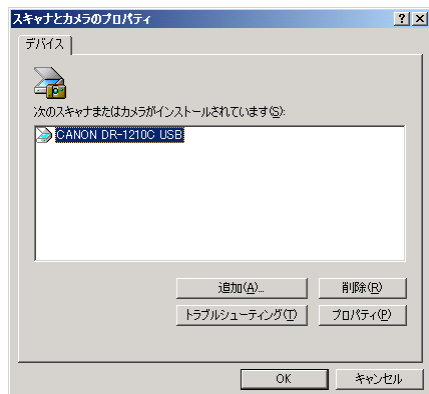
Windows Vista の場合、コントロールパネルをクラシック表示に切り替えます。または、作業する分野で「ハードウェアとサウンド」を選択してください。

- 「スキャナとカメラ」をクリックします。





4. [CANON DR-1210C USB] を選択し、[プロパティ] をクリックします。



5. [ランプ コントロール] タブをクリックします。



- 2 ▶ ランプを切るまでの時間を 12分、36分、60分、240分から選択します。



メモ

ランプが切れるまでの時間は、初期設定で「12分」に設定されています。

- 3 ▶ [OK] をクリックして「スキャナとカメラのプロパティ」を閉じます。
- 4 ▶ 設定変更を有効にするために Windows を再起動させます。

### 3. ソフトウェアのアンインストール

ISIS/TWAIN ドライバ、ジョブ登録ツール、CapturePerfectが正常に動作しないような時は、次の手順でソフトウェアをアンインストールしてください。そして、DR-1210C セットアップディスクをから、ソフトウェアを再インストールしてください。(→簡単スタートガイド「Step.3 ソフトウェアのインストール」)



#### お願い

Windows にログオンするときは、必ず Administrator 権限でログオンしてください。

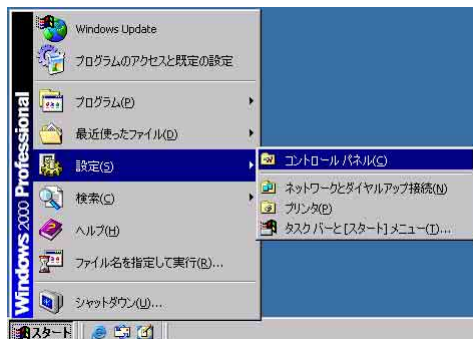


1 [スタート]ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル]をクリックします。



#### メモ

Windows XP および Windows Vista の場合は[スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。



[コントロールパネル]ウィンドウが表示されます。

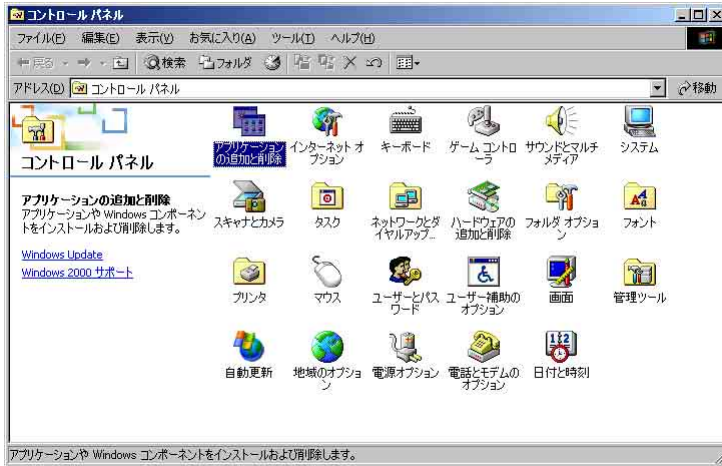


2 [アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。



#### メモ

Windows XP の場合は[プログラムの追加と削除]をクリックします。  
Windows Vista の場合は[プログラムのアンインストール]をクリックします。



[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



### メモ

Windows XP の場合は [プログラムの追加と削除] ダイアログボックスが表示されます。

Windows Vista の場合は [プログラムのアンインストールまたは変更] 画面が表示されます。



3 プログラムの一覧から、削除するアプリケーションを選択し、[変更と削除] ボタン (または [削除] ボタン) をクリックします。

→ P.73 「ISIS/TWAIN ドライバ/ジョブ登録ツールのアンインストール」

→ P.74 「CapturePerfect のアンインストール」



### メモ

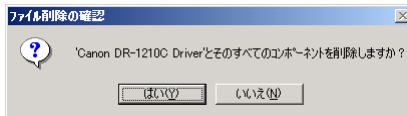
Windows Vista の場合は、削除するアプリケーションを選択してから、[アンインストールまたは変更] ボタン (または [変更] ボタン) をクリックします。

## ISIS/TWAIN ドライバ/ジョブ登録ツールのアンインストール

- 1 ▶ プログラムの一覧から、[Canon DR-1210C Driver] (または、[DR-1210C ジョブツール]) を選択し、[変更と削除] ボタンをクリックします。

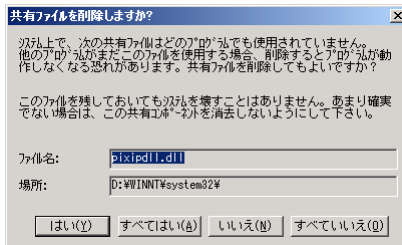


- 2 ▶ [ファイル削除の確認] 画面が表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。



「共有ファイルを削除しますか？」画面が表示されます。

- 3 ▶ [すべてはい] ボタンをクリックします。



確認のメッセージが表示されます。

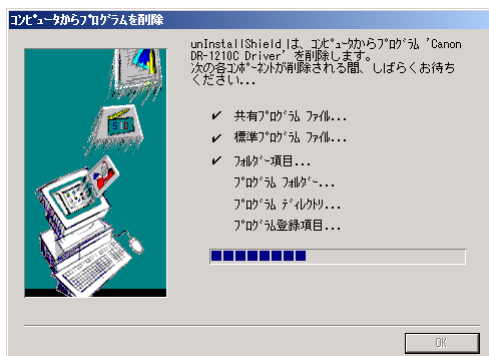
- 4 [はい] ボタンをクリックし、アンインストールを行ないます。



## メモ

削除した共有ファイルは、ソフトウェアのインストールによりすべて再インストールされます。

- 5 アンインストールが完了したら[OK]ボタンをクリックし、プログラムの削除を終了させます。

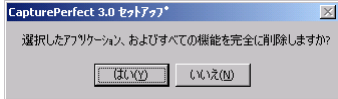


## CapturePerfect のアンインストール

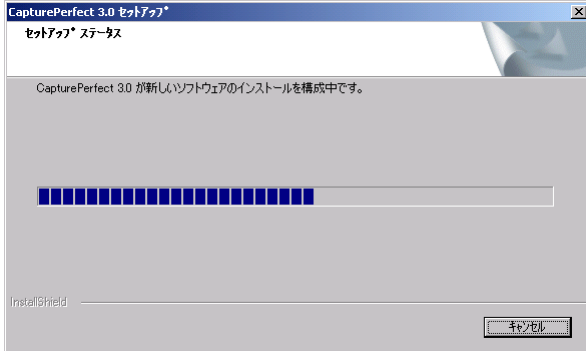
- 1 プログラムの一覧から、[CapturePerfect 3.0] を選択し、[削除] ボタンをクリックします。



2 ▶ ファイル削除の確認画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。



アンインストールを行ないます。



3 ▶ アンインストールが完了したら[完了]ボタンをクリックし、プログラムの削除を終了させます。



## 4. 仕様

### 仕様

#### 本体

形式	フィーダ付きフラットベッドスキャナ
読み取り原稿サイズ	
フィーダ	幅 : 148 - 216mm 長さ : 100 - 356mm 厚さ : 52 - 128g/m <sup>2</sup> (0.06mm - 0.15mm)
フラットベッド	幅 : 216mm 長さ : 297mm
フィーダ積載量	35 枚または、積載高さ 3.5mm (カール込み)
給紙方法	自動
読み取りセンサ	CCD
光源	CCFL (冷陰極管)
読み取り面	片面
読み取りモード	白黒、テキストエンハンスメント、誤差拡散、256 階調 グレースケール、24 ビットカラー、スムージングカラー
読み取り解像度 (主走査×副走査)	100×100dpi/ 150×150dpi/ 200×200dpi 240×240dpi/ 300×300dpi/ 400×400dpi 600×600dpi
読み取り速度 (A4、200dpi)	
フィーダ	白黒       12 枚/分 グレー   12 枚/分 カラー   12 枚/分
フラットベッド	白黒       5 秒/枚 グレー   5 秒/枚 カラー   5 秒/枚
インタフェース	Hi-Speed USB 2.0
外形寸法	471 (幅) × 380 (奥行き) × 165 (高さ) mm
質量	約 6.1kg
電源 (AC アダプタ使用)	DC24V 0.6A
消費電力	動作時 : 最大 18 W 低電力モード時 : 5 W 電源スイッチ OFF 時 : 0.5 W
騒音	66 dB 以下
使用環境	温度 : 10°C-32.5°C 湿度 : 20%-80%RH



## ACアダプタ

---

型番	HPA-602425U1 (電源コード別)
入力	AC 100V 50/60Hz 117VA-150VA
出力	DC24V 2.2A
質量	約0.3kg

- AC アダプタと電源コードは必ず付属品をお使いください。

## 交換部品

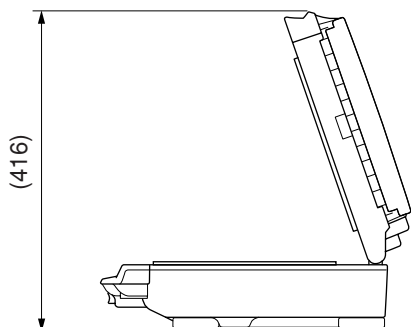
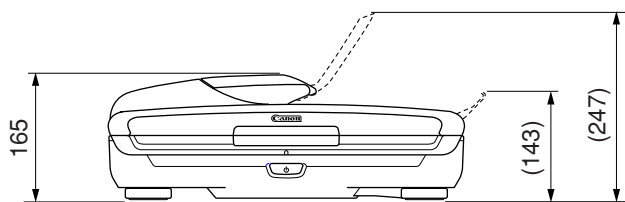
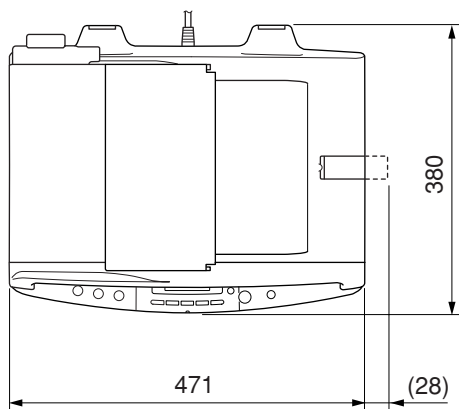
ローラユニット	商品コード：1541B001
分離パッド	商品コード：1541B002

- ローラユニット、分離パッド交換については、P.56「ローラユニットと分離パッドの清掃」を参照してください。
- 交換部品についての詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

# 外形寸法図

単位：mm



# 保証とアフターサービス

## ■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

## ■保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

## ■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または次ページに記載されているサービス窓口へご相談ください。

## ■修理を依頼される前に

61ページの「困ったときは」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

## ■修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

## ■補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

# 修理受付窓口

保証内容や修理についてのお問い合わせは、お買い上げ販売店または、下記のキヤノンサービスセンターへお問い合わせください。

下記、修理受付窓口の受付時間は 9:00AM ~ 5:30PM です。土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。(但し、東京 QR センター、新宿 QR センターの営業時間は 10:00AM ~ 6:00PM、休業日は日曜・祝祭日です。) また、※印のサービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。

**お願い： DR-1210C のお取扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。**

## (北海道地区)

※ 札幌サービスセンター

TEL 011(728)0665 〒0608522 北海道札幌市北区北7条西1-1-2 SE山京ビル1F

## (東北地区)

※ 仙台 QR センター

TEL 022(217)3210 〒9808560 宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビルディング1F

## (関東・信越地区)

東京 QR センター(持込のみ)

TEL 03(3837)2961 〒1100005 東京都台東区上野1-1-12 信井ビル1F

新宿 QR センター(持込のみ)

TEL 03(3348)4725 〒1630401 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1F

横浜サービスセンター(持込のみ)

TEL 045(312)0211 〒2200004 神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 HI 横浜ビル2F

東日本修理センター(持込のみ)

TEL 043(211)9032 〒2618711 千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノン MJ 幕張事業所1F

※ キヤノンテクニカルセンター(郵送・宅配のみ)

TEL 0297(35)5000 〒3060605 茨城県板東市大字馬立1234 F7 棟3F

関東地区・東京地区で郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、上記キヤノンテクニカルセンターにお送り下さい。

## (中部・北陸地区)

※ 名古屋 QR センター

TEL 052(939)1830 〒4618511 愛知県名古屋市東区東桜2-2-1 高岳パークビル1F

## (近畿地区)

※ 大阪 QR センター

TEL 06(6459)2565 〒5300005 大阪府大阪市北区中之島6-1-21 キヤノンビジネスサポート中之島ビル2F

## (中国・四国地区)

広島サービスセンター

TEL 082(240)6712 〒7300051 広島県広島市中区大手町3-7-5 広島パークビル1F

## (九州地区)

※ 福岡 QR センター

TEL 092(411)4173 〒8120017 福岡県福岡市博多区美野島1-2-1 キヤノン MJ ビル1F

2006年10月1日現在 上記の記載内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

# サービス&サポートのご案内

## ● お客様相談センター

取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター

全国共通電話番号



050-555-90072

受付時間： <平日> 9:00～12:00 / 13:00～17:00

(土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませさせていただきます。)

- ※ 本製品にバンドルされているアドビ製品についてのお問い合わせについては、83ページ「アドビシステムズ社製品について」をご参照ください。
- ※ 上記番号は050から始まるIP電話（株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー（NTT-ME）のXePhion Call Direct）を利用しています。  
NTTの固定電話（一般回線）から地域・時間帯にかかわらず同一通話料金（10.4円／3分）でご利用になれます。
- ※ 携帯電話・PHSをご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。尚、一部のPHSからはご利用いただけませんのでご了承ください。
- ※ お客さまが050から始まるIP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。IP電話からのご利用は、IP電話事業者間の接続状況によります。NTT-MEのXePhion Call Directの上記番号との通話（接続）可否については、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。IP電話からつながらない場合の事象（話中音、アナウンス、ブザー音など）はプロバイダーによって異なります。  
また、IP電話の相互通話であっても上記番号との通話料金はプロバイダーによって異なります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- ※ 上記番号におかけになってもつながらない場合は、NTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、043-211-9156におかけくださいますようお願いいたします。
- ※ お客様相談センターの詳細につきましてはキャノンホームページ (<http://cweb.canon.jp/e-support/rc/>) をご参照ください。

## ● 消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキャノン製品取扱店およびキャノンマーケティングジャパン（株）販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

## ● キャノンホームページ <http://canon.jp/>

- ※ <http://canon.jp/support> では、製品情報、最新ドライバのダウンロード、QA検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。
- ※ ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- ※ 通信料はおお客様のご負担になります。

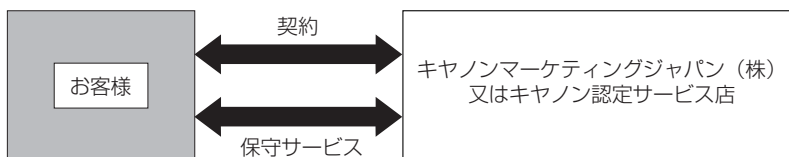
# 保守サービスのご案内

## ■ ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはドキュメントスキャナをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくドキュメントスキャナの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

## キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するサービスです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



## ■ 精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機器は精密機器です。万一、思いがけないトラブルが発生した場合、時間的なロスだけでなく、予期せぬ出費が発生します。そこで、トラブルが起こってからではなく、事前に一定の料金をお支払いいただくことで、ご愛用の機器の修理に備えるのがキヤノンの保守契約制度です。

## キヤノン保守契約制度のメリット

### ■ 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

### ■ 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

※天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。

※消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります。

## 購入時契約のおすすめ

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いします。

# アドビシステムズ社製品について

この製品には「Adobe Acrobat」がバンドルされています。「Adobe Acrobat」のインストールおよびサポートについては、以下をご参照ください。

## ■ インストール

Adobe Acrobat DVD を DVD-ROM ドライブに挿入し、Adobe Acrobat をインストールして使用します。DVD から Acrobat ソフトウェアを直接起動し、実行することはできません。

画面に表示される指示に従ってインストールします。詳細については DVD に収納されている **How To Install** ファイルをご覧ください。なお、インストールの際には Adobe Acrobat DVD が収納されているソフトケースに記載されているシリアル番号が必要になりますので、シリアル番号の控えを手元に保管、管理していただくようお願い致します。

## ■ アドビ製品のサポートについて

本製品にバンドルされておりますアドビ製品 Adobe® Acrobat® 製品のサポートについては、オンラインで提供されている無償のサービス&サポートデータベースやアドビユーザフォーラム、お電話での有償サポートをご利用いただけます。

### サポートの内容について

#### 1. インターネット（アドビホームページ）からの技術情報提供

営業時間	年中無休（メンテナンス期間を除く）
サポート料金	無料
サポート内容	以下の Web サイトよりサポート、技術情報や FAQ の検索ができます。 <a href="http://www.adobe.com/jp/support/acrobat/">http://www.adobe.com/jp/support/acrobat/</a>

#### 2. 製品テクニカルサポート

アドビ製品 Adobe® Acrobat® についての技術的なご質問に関するサポートは、有償サポートを通してのみご利用いただけます。有償テクニカルサポートプログラムのお申込み、契約内容については以下の Web ページをご覧ください。

Adobe- サポートプログラム  
<http://www.adobe.com/jp/support/programs/>

最新のサポート情報につきましては、以下のサポートページをご覧ください。

<http://www.adobe.com/jp/support/>

## ■ アドビ製品のユーザ登録について

アドビ製品の情報をいち早く入手するために、ユーザ登録をお勧めします。  
シリアル番号は、お客様のライセンスを特定する個別の番号で非常に重要なものです。  
ユーザ登録は以下の方法で行うことができます。

1. 製品インストール時に表示されるユーザ登録画面から登録できます。(インターネット環境が必要です)
2. アドビのホームページからオンライン登録します。

<http://www.adobe.com/jp/register>

アドビのプライバシーポリシーについては、  
<http://www.adobe.com/jp/misc/privacy.html>  
をご覧ください。

## ■ ライセンス認証について

Adobe 製品を使用するには、正規にご購入いただいたお客様の使用権利を守るため、「ライセンス認証」という簡単な手続きが必要です。2008年6月以降にリリースされたバージョン (Adobe® Acrobat® 9を含む) では、インターネット接続が検出されたときに、ライセンス認証手続きを促すメッセージが自動的に表示されます。その指示にしたがえば、ライセンス情報がアドビに送信され、検証が行われます。

詳しくは、下記の Web ページをご覧ください。

製品ライセンス認証センター

<http://www.adobe.com/jp/activation/>

## その他：

上記情報は、アドビの都合により変更される場合がありますので、適宜、アドビのホームページによりご確認くださいませようお願い申し上げます。

(本ドキュメントの内容は2008年1月現在のものです)



# 索引

## 英字

ACアダプタ	7, 77
ADFコネクタ	13
CapturePerfect	17, 25
操作手順	27
DR-1210C Driver	17
STARTボタン	15
STOPボタン	15, 41
USBコネクタ	13

## ア行

圧着板	13
アドビシステムズ社製品について	83
位置合わせマーク	23
イベント機能	35
ウォームアップ	30, 35, 67
オペレーティングシステム	16

## カ行

各部の名称	12
紙詰まり	39
簡単スタートガイド	1
給紙トレイ	12, 21, 39
原稿ガイド	12
原稿について	20
積載枚数	22
原稿のセット	21
フィーダ	21
フラットベッド	23
交換部品	77
困ったときは	61
こんなときは	42

## サ行

サービス&サポートのご案内	81
修理受付窓口	80
仕様	76
外形寸法図	78
省電力モード	67
ジョブ機能	
ジョブ登録ツール	33
ジョブの実行	34
ジョブボタンについて	33
ジョブボタン	14, 33
スキャナの移動	7
スキャン方法	25
CapturePerfect	25
ジョブ機能	32
スクロールボタン	15, 33

## 清掃

圧着板	55
搬送路	54
分離パッド	56
本体	54
読み取りガラス	55
ローラユニット	56
設置場所	6
セットアップディスク	17
操作パネル	14
ソフトウェアのアンインストール	71
ソフトウェアの設定項目	
ISISドライバ	46
TWINドライバ	48
ジョブ登録ツール	50

## タ行

電源コネクタ	13
電源スイッチ	12
電源ランプ	12
動作環境	16
特長	10

## ナ行

日常のお手入れ	54
日常の取り扱い	8
任意ジョブボタン	15, 33

## ハ行

廃棄	9
排紙口	12
排紙ストップ	12, 22
はじめに	1
表示パネル	14
フィーダ	12
フィーダカバー	12, 39
フラットベッド	13
分離パッド	56
保守サービスのご案内	82
保証とアフターサービス	79

## マ行

マニュアルの構成	1
----------	---

## ヤ行

読み取りガラス	13
---------	----

## ラ行

ランプコントロール	67
ローラユニット	56
ロックスイッチ	7, 12

**Canon**

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 **CANON S TOWER**

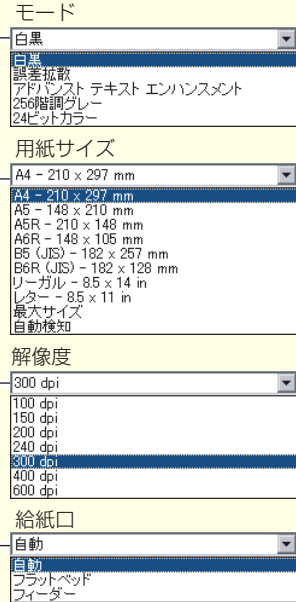
# Canon DR-1210C ISIS ドライバ クイックガイド

本クイックガイドは、スキャナの近くに置いてお使いください。

## 基本設定ダイアログボックス



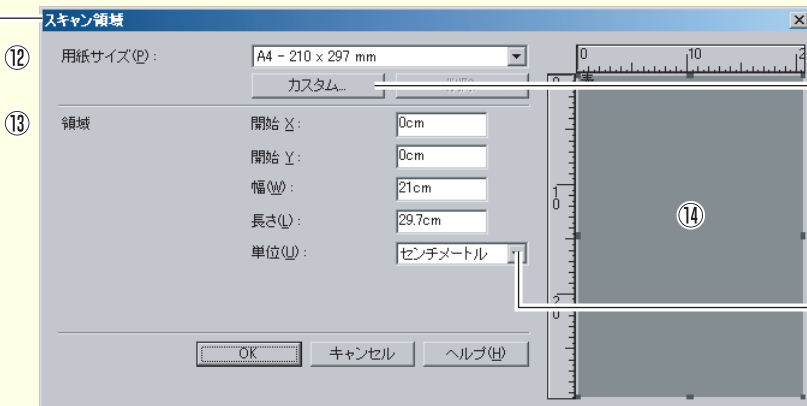
## ユーザ設定の登録



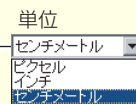
\*アドバンスドテキストエンハンスメントの場合は、[コントラスト]の設定が自動になります。

- \* 給紙口が[フラットベッド]のときは、バッチ区切りの設定が[なし]になります。
- \* 給紙オプションを[自動給紙]にすると、待ち時間の設定が有効になります。
- \* 給紙口が[フラットベッド]のときは、[自動給紙]は表示されません。

## スキャン領域ダイアログボックス

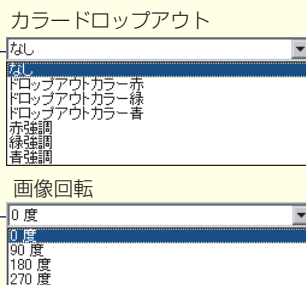
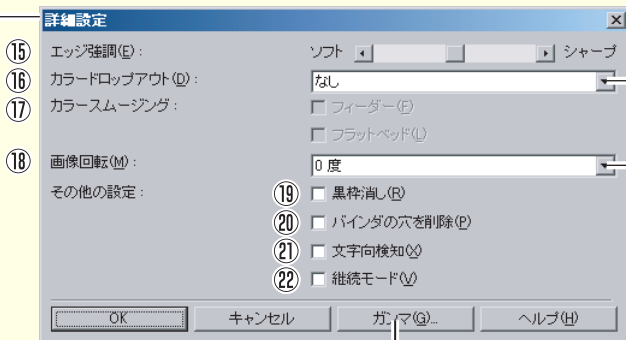


## カスタム用紙サイズの登録



- \* 用紙サイズが[自動検知]になっていると、領域の設定ができません。
- \* [斜行補正]がオンになっていると、指定した領域がズレてスキャンされます。

## 詳細設定ダイアログボックス



ガンマ設定ダイアログボックスを開き、ガンマ補正を行いません。ガンマ設定ダイアログボックスの詳細については [ヘルプ] ボタンを押してヘルプを参照してください。

\* ガンマ設定を[カスタム]にすると、[明るさ]、[コントラスト]の設定が自動になり、用紙サイズの [自動検知] が正常に機能しないことがあります。

本クイックガイドは、スキヤナの近くに置いてお使いください。

## 基本設定ダイアログボックス

### ① ユーザ設定

設定した内容に名称を付けて登録します。

☞ 入力は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以下。

### ② モード

スキャンするモードを選択します。

☞ [24ビットカラー] を選択すると、詳細設定ダイアログボックスの [カラースムージング] が有効になります。

### ③ 用紙サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。

☞ [自動検知] を選択すると、原稿のサイズを検知してスキャンを行ないます。

### ④ 解像度

スキャンする解像度を選択します。

### ⑤ 明るさ

明るさを調整します。

### ⑥ コントラスト

コントラストを調整します。

モードの設定で [アドバンスドテキストエンハンスメント] が選択されていると、[コントラスト] は自動になります。

### ⑦ 給紙口

原稿をセットする場所を選択します。

☞ [自動] を選択すると、フィーダに原稿があるときはフィーダの原稿を読み取り、フィーダに原稿がないときはフラットベッドの原稿を読み取ります。

☞ [フラットベッド] を選択すると、フラットベッドの原稿を読み取ります。

☞ [フィーダー] を選択すると、フィーダの原稿を読み取ります。

### ⑧ 給紙オプション

原稿の給紙方法を選択します。

☞ [標準給紙] は、原稿をセットした後のスキャン操作をすべてアプリケーションで行ないます。

☞ [パネルで給紙] は、原稿をセットした後、スキヤナ本体のスタートボタンでスキャンを開始します。

☞ [自動給紙] は、フィーダが原稿のセットを感知するとスキャンが開始されます。

### ⑨ バッチ区切り

給紙オプションで [パネルで給紙]、[自動給紙] が選択されているときに有効になり、原稿の束毎にバッチを区切ることができます。

### ⑩ プレスキャン

スキャン開始時に原稿を 1 枚スキャンし、プレスキャンウィンドウに画像を表示します。

### ⑪ 斜行補正

原稿が斜めに給紙されたとき、スキャンした画像をまっすぐに補正します。

## スキャン領域ダイアログボックス

### ⑫ 用紙サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。

☞ [カスタム] ボタンを押すと、非定型サイズの原稿をカスタム用紙サイズとして登録することができます。

### ⑬ 領域

スキャンする領域を選択します。

☞ 用紙サイズが [自動検知] の場合は無効になります。

### ⑭ 領域ウィンドウ

用紙サイズの設定に合わせて表示が変化します。

☞ マウスでドラッグして読み取り領域を指定することもできます。

## 詳細設定ダイアログボックス

### ⑮ エッジ強調

画像の輪郭を強調します。

### ⑯ ドロップアウトカラー

読み取りのモードが [24ビットカラー] 以外のときに有効で、赤 / 緑 / 青色の読み飛ばし (ドロップアウト) または、赤 / 緑 / 青色の強調を設定します。

### ⑰ カラースムージング

雑誌やカタログなどの写真を [24ビットカラー] で読み取り、読み取ったカラー画像にモアレが発生するようになるときに使用します。このチェックボックスをオンにすると読み取った画像を平均化し、モアレの発生を抑えます。

### ⑱ 画像回転

スキャンした画像の向きが正常になるように回転します。

### ⑲ 黒枠消し

スキャンした画像の周りにできる黒い部分を消去します。

### ⑳ バインダの穴を削除

バインダに綴じられていた原稿を読み取るときにできる黒い穴の部分を削除します。

### ㉑ 文字向き検知

画像の中にある文字の向きを検知し、文字の向きが正常になるように 90 度単位で画像を回転させます。

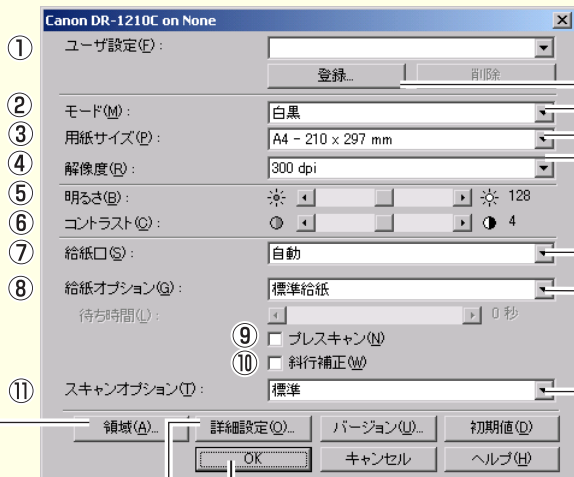
### ㉒ 継続モード

読み取り中に紙詰まりなどで搬送が停止したときに、アプリケーション側にエラーを送信しないで読み取りを中断します。搬送が停止した原因を処理した後、通常の操作で読み取りを継続することができます。

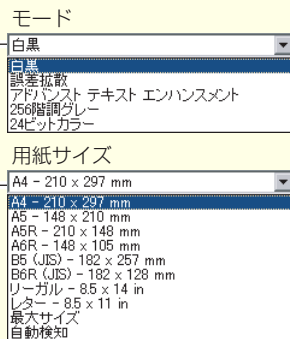
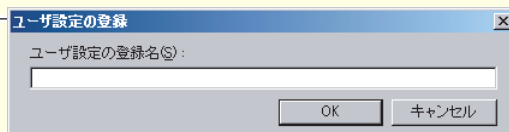
本クイックガイドでは、CaptuerPerfect で表示されるダイアログボックスについて説明しています。アプリケーションによっては基本設定ダイアログボックスが表示されない場合があります。このようなときは、基本設定ダイアログボックスの機能の一部が盛り込まれた詳細設定ダイアログボックスが表示されます。詳細については、「ヘルプ」ボタンを押してヘルプを参照してください。

本クイックガイドは、スキャナの近くに置いてお使いください。

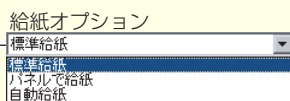
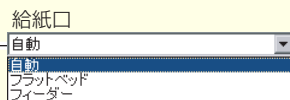
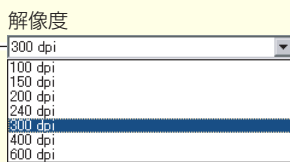
## 基本設定ダイアログボックス



## ユーザ設定の登録



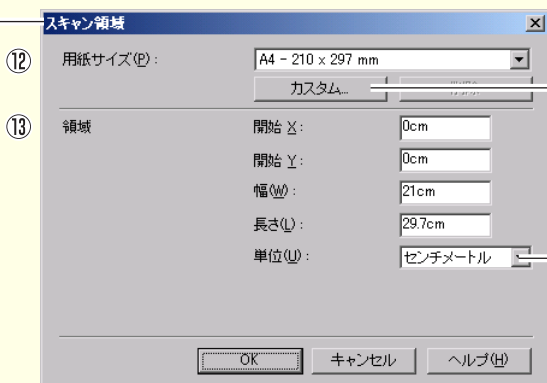
\*アドバンスドテキストエンハンスメントの場合は、[コントラスト]の設定が自動になります。



\* 給紙オプションを[自動給紙]にすると、待ち時間の設定が有効になります。  
\* 給紙口が[フラットベッド]のときは、[自動給紙]は表示されません。

基本設定ダイアログボックスから直接スキャンを実行するアプリケーションの場合、[OK] ボタンの代わりに [スキャン] ボタンが表示され、さらにスキャン領域ダイアログボックスに [領域ウィンドウ] と [プレビュー] ボタンが表示されます。

## スキャン領域ダイアログボックス

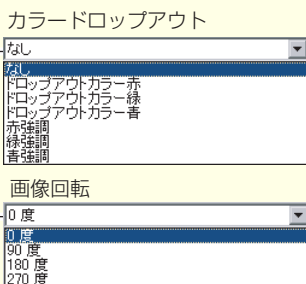
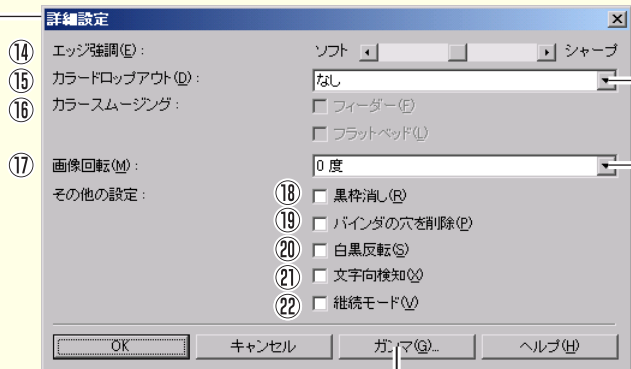


## カスタム用紙サイズの登録



\* 用紙サイズが[自動検知]になっていると、領域の設定ができません。  
\* [斜行補正]がオンになっていると、指定した領域がズレてスキャンされます。

## 詳細設定ダイアログボックス



ガンマ設定ダイアログボックスを開き、ガンマ補正を行いません。ガンマ設定ダイアログボックスの詳細については [ヘルプ] ボタンを押してヘルプを参照してください。

\* ガンマ設定を[カスタム]にすると、[明るさ]、[コントラスト]の設定が自動になり、用紙サイズの [自動検知] が正常に機能しないことがあります。

本クイックガイドは、スキャナの近くに置いてお使いください。

## 基本設定ダイアログボックス

### ① ユーザ設定

設定した内容に名称を付けて登録します。

☞ 入力は、半角で32文字、全角で16文字以下。

### ② モード

スキャンするモードを選択します。

☞ [24ビットカラー] を選択すると、詳細設定ダイアログボックスの[カラースムージング]が有効になります。

### ③ 用紙サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。

☞ [自動検知] を選択すると、原稿のサイズを検知してスキャンを行ないます。

### ④ 解像度

スキャンする解像度を選択します。

### ⑤ 明るさ

明るさを調整します。

### ⑥ コントラスト

コントラストを調整します。

☞ モードの設定で[アドバンスドテキストエンハンスメント]が選択されていると、[コントラスト]は自動になります。

### ⑦ 給紙口

原稿をセットする場所を選択します。

☞ [自動] を選択すると、フィーダに原稿があるときはフィーダの原稿を読み取り、フィーダに原稿がないときはフラットベッドの原稿を読み取ります。

☞ [フラットベッド] を選択すると、フラットベッドの原稿を読み取ります。

☞ [フィーダー] を選択すると、フィーダの原稿を読み取ります。

### ⑧ 給紙オプション

原稿の給紙方法を選択します。

☞ [標準給紙] は、原稿をセットした後のスキャン操作をすべてアプリケーションで行ないます。

☞ [パネルで給紙] は、原稿をセットした後、スキャナ本体のスタートボタンでスキャンを開始します。

☞ [自動給紙] は、フィーダが、原稿のセットを感知するとスキャンが開始されます。

### ⑨ プレスキャン

スキャン開始時に原稿を1枚スキャンし、プレスキャンウィンドウに画像を表示します。

### ⑩ 斜行補正

原稿が斜めに給紙されたとき、スキャンした画像をまっすぐに補正します。

### ⑪ スキャンオプション

スキャン時の動作を指定します。

☞ [標準] は、読み取った原稿を排紙してから次の原稿をスキャンします。

☞ [先読みスキャン] は、原稿を連続してスキャンします。

☞ [1 ページスキャン] は、原稿を1枚だけスキャンします。

## スキャン領域ダイアログボックス

### ⑫ 用紙サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。

☞ [カスタム] ボタンを押すと、非定型サイズの原稿をカスタム用紙サイズとして登録することができます。

### ⑬ 領域

スキャンする領域を選択します。

☞ 用紙サイズが[自動検知]の場合は無効になります。

## 詳細設定ダイアログボックス

### ⑭ エッジ強調

画像の輪郭を強調します。

### ⑮ ドロップアウトカラー

読み取りのモードが[24ビットカラー]以外のときに有効で、赤/緑/青色の読み飛ばし(ドロップアウト)または、赤/緑/青色の強調を設定します。

### ⑯ カラースムージング

雑誌やカタログなどの写真を[24ビットカラー]で読み取り、読み取ったカラー画像にモアレが発生するようになるときに使用します。このチェックボックスをオンにすると読み取った画像を平均化し、モアレの発生を抑えます。

### ⑰ 画像回転

スキャンした画像の向きが正常になるように回転します。

### ⑱ 黒枠消し

スキャンした画像の周りにできる黒い部分を消去します。

### ⑲ バインダの穴を削除

バインダに綴じられていた原稿を読み取るときにできる黒い穴の部分を削除します。

### ⑳ 白黒反転

モードの設定が[白黒]、[誤差拡散]、[テキストエンハンスメント]のときに原稿を白黒反転させてスキャンします。

### ㉑ 文字向き検知

画像の中にある文字の向きを検知し、文字の向きが正常になるように90度単位で画像を回転させます。

### ㉒ 継続モード

読み取り中に紙詰まりなどで搬送が停止したときに、アプリケーション側にエラーを送信しないで読み取りを中断します。搬送が停止した原因を処理した後、通常の操作で読み取りを継続することができます。

本クイックガイドでは、TWAINドライバの設定項目について説明しています。詳細については、「ヘルプ」ボタンを押してヘルプを参照してください。



# Canon DR-1210C ジョブ登録ツール クイックガイド

本クイックガイドは、スキャナの近くに置いてお使いください。

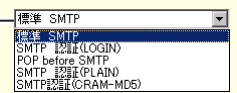
## ジョブ登録ツールダイアログボックス



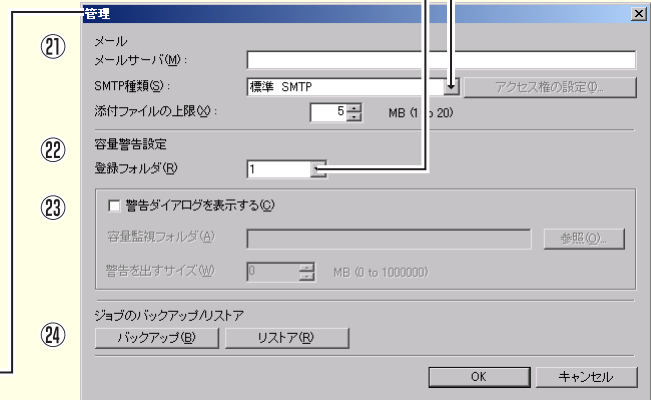
登録フォルダ



SMTP設定



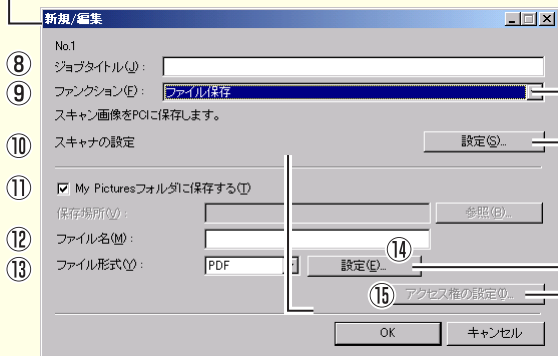
## 管理設定ダイアログボックス



## 新規/編集ダイアログボックス

\* 「ファイル保存」以外は、「ファイル保存」と異なる設定項目のみ表示します。

### ファイル保存



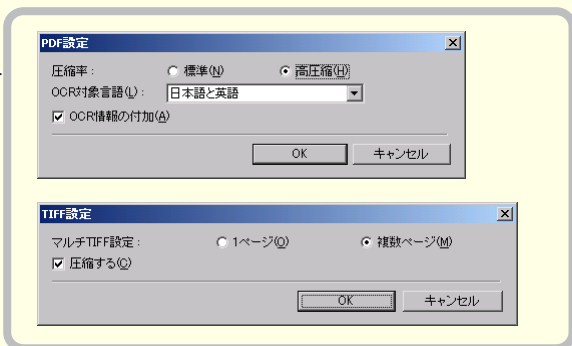
### ファンクション



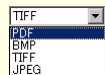
\* ファンクションの設定に合わせてダイアログボックスが変更します。

TWAIN設定ダイアログボックスを開きます。(TWAINドライバクイックガイド参照)

## PDF/TIFF設定

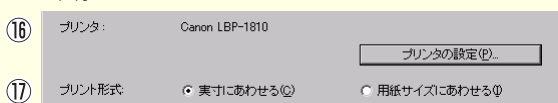


### ファイル形式



\* [PDF]、[TIFF]を選択したときに[設定]ボタンが有効になります。

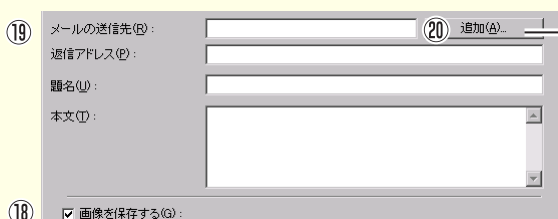
## 印刷



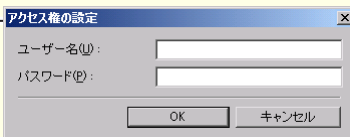
## メール添付



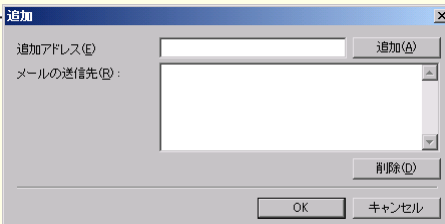
## メール送信



## アクセス権の設定 (Windows2000/XP)

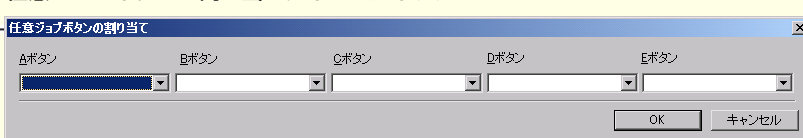


## メールアドレス追加



\* 追加アドレスを入力し、追加ボタンを押すと [メールの送信先] にアドレスが追加されます。

## 任意ジョブボタンの割り当てダイアログボックス



本クイックガイドは、スキャナの近くに置いてお使いください。

## ジョブ登録ツールダイアログボックス

- ① **ジョブ一覧**  
登録されているジョブを表示します。
- ② **ジョブボタン設定**  
スキャナのジョブボタンを設定します。
- ③ **[新規 / 編集] ボタン**  
新規 / 編集ダイアログボックスを開きます。
- ④ **[複写] ボタン**  
登録されているジョブを別の番号にコピーします。
- ⑤ **[削除] ボタン**  
登録されているジョブを削除します。
- ⑥ **[任意ジョブボタン] ボタン**  
ダイアログボックスを開き、表示パネルの手前にある任意ジョブボタン (A ~ E) にジョブを割り当てます。
- ⑦ **[管理] ボタン**  
管理ダイアログボックスを開きます。

## 新規 / 編集ダイアログボックス

- ⑧ **ジョブタイトル**  
表示パネルに表示させるジョブのタイトルを入力します。
- ⑨ **ファンクション**  
スキャンボタンに割り当てる機能を選択します。  
☞ 編集ダイアログボックスは、[ファンクション] の選択によってダイアログボックスが変更します。
- ⑩ **スキャナの設定**  
TWIN ドライバ設定ダイアログボックスを開きスキャン条件を設定します。
- ⑪ **My Pictuers フォルダに保存する**  
スキャンした画像ファイルをマイドキュメントの中にある My Pictuers フォルダに保存します。  
☞ このチェックボックスをオフにすると保存場所を指定できます。
- ⑫ **ファイル名**  
ファイル名を指定します。  
☞ 保存されるファイル名は、指定したファイル名にタイムスタンプが付加されて保存されます。
- ⑬ **ファイル形式**  
保存するファイル形式を選択します。  
☞ PDF/TIFF を選択した場合、[設定] ボタンが有効になります。
- ⑭ **[設定] ボタン**  
ファイル形式でPDF/TIFFを選択したときに有効になりPDF/TIFF 設定ダイアログボックスを開きます。  
☞ PDF 設定ダイアログボックス では、[圧縮] の設定と [OCR] の設定を行いません。  
☞ TIFF 設定ダイアログボックス では、[マルチ TIFF 設定] と [圧縮] の設定を行いません。
- ⑮ **[アクセス権の設定] ボタン**  
アクセス権の設定ダイアログボックスを開きます。  
☞ ネットワーク上の共有フォルダにアクセス権が無い場合に、アクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。

- ⑯ **プリンタ**  
[通常使うプリンタ] に設定されているプリンタが表示され、[プリンタの設定] ボタンでプリンタの設定を変更します。
- ⑰ **プリント形式**  
印刷するサイズを指定します。  
☞ [実寸にあわせる] は、原稿と同じサイズで印刷します。  
☞ [用紙にあわせる] は、スキャンした画像が印刷する用紙より大きいときには、印刷する用紙のサイズに合わせて印刷します。スキャンした画像が印刷する用紙より小さいときは、原稿と同じサイズで印刷します。
- ⑱ **画像を保存する**  
[スキャンしてメール添付] で、スキャンした画像を保存する場合にチェックします。
- ⑲ **メール送信設定**  
自動送信する電子メールの設定をします。
- ⑳ **[追加] ボタン**  
送信先のメールアドレスを追加します。

## 管理ダイアログボックス

- ㉑ **メールサーバ設定**  
お使いのメールサーバを設定します。  
☞ メールサーバの設定については、メールサーバの管理者にお問い合わせください。
- ㉒ **容量警告設定**  
画像ファイルを保存するフォルダを指定し、そのフォルダに保存できる容量をあらかじめ設定しておきます。  
☞ 設定したフォルダを指定してスキャンを開始し、スキャン中に設定した容量を越えた場合に警告メッセージを表示します。
- ㉓ **登録フォルダ / 警告ダイアログを表示する**  
登録フォルダの番号を選択し、「警告ダイアログボックスを表示する」をチェックすると [容量監視フォルダ] と [警告を出すサイズ] が有効になります。  
☞ 容量警告が表示された時はメッセージに従ってスキャンを行なってください。
- ㉔ **ジョブのバックアップ / リストア**  
登録したジョブをバックアップ / リストア (復元) します。  
☞ バックアップファイルは、他の DR-1210 に復元させて使用することができます。

本クイックガイドでは、ジョブ登録ツールの設定項目について説明しています。詳細については、「ヘルプ」ボタンを押してヘルプを参照してください。